

2025（令和7）年度

第7期鹿追町総合計画重点プロジェクト評価調書



ジオパークの町 鹿追町



第7期鹿追町総合計画重点プロジェクト（後期計画分）

NO.	基本計画名	施策名	指標内容	現状値 2022(R4)年度	単年度目標値 2025(R7)年度	実績値 2025(R7)年度	単年度 目標達成率	評価	最終目標値 2027(R9)年度	総合計画 ページ	担当課
1. 「その先へ」プロジェクト											
1	健康づくり	健（検）診内容の充実と 事後指導の充実	特定健診受診率（％）	48.3	54	46	85%	A	58	32	保健福祉課
			結果説明会出席率（％）	85.1	87	91	105%	A	89		
2	子育て支援	子育て世代の包括的支援	この地域で子育てしたいと思う保護者の 割合（％）	96	90	87	97%	A	100	42	保健福祉課
			子ども家庭センターを知っている妊婦の 割合（％）	43	45	48	107%	A	50		
3	家庭教育	青少年の健全育成	親子で使用ルールを決めている児童・生 徒の割合（％）	測定値なし	10	17	170%	A	30	58	社会教育課
			挨拶の習慣が身についている児童・生徒 数の割合（％）	測定値なし	40	79	198%	A	80		
4	学習活動（少 年・青年・成 人・高齢者）	高齢者の生涯学習の推進	ヌブカウシ白寿大学生徒数（人）	40	45	37	82%	A	50	62	社会教育課
			ライフアカデミーマイスターに登録して いるシニア層の人数（人）	10	14	24	171%	A	20		
5	農業（経営・基 盤整備）	農業基盤整備事業の推進	国営・道営事業による農業基盤整備事業 実施地区数（地区）	4	4	4	100%	A	4	74	農業振興課
			多面的機能支払交付金執行率（％）	100	100	100	100%	A	100		
6	農業（持続可能 な農業）	バイオガスプラントの有 効活用・推進	家畜排せつ物等のバイオマス資源の年間 活用量（t）	176,398	181,000	175,072	97%	A	181,000	80	農業振興課
			メタン発酵過程で生産されるエネルギー （m3）	5,105,913	5,200,000	4,685,875	90%	A	5,200,000		
7	商工業	商工会経営改善・一般事 業の推進	小規模事業者に対する相談・指導実施割 合（％）	161	100	120	120%	A	100	84	商工観光課
			商工会員に対する相談・指導実施割合 （％）	176	100	90	90%	A	100		

NO.	基本計画名	施策名	指標内容	現状値 2022(R4)年度	単年度目標値 2025(R7)年度	実績値 2025(R7)年度	単年度 目標達成率	評価	最終目標値 2027(R9)年度	総合計画 ページ	担当課
8	商工業	町内企業への支援	町内商工業事業者数（商工会員数）（事業者）	158	165	161	98%	A	158	86	商工観光課
			商工会員への経営相談・巡回指導件数（件）	629	630	696	110%	A	630		
9	観光	国立公園エリアの活用推進および誘客施策の展開	観光客入込数（人） （うち外国人数）	658,500 (3,713)	699,000 (3,200)	674,000 (3,171)	96%	A	740,000 (3,400)	90	商工観光課
			自然公園利用者数（人）	81,518	78,000	104,407	134%	A	82,000		
10	観光	長期（長時間）滞在への誘導	町内宿泊者数（人）	26,800	28,000	22,900	82%	B	30,000	90	商工観光課
			宿泊施設数（所）	10	10	10	100%	Y	12		
11	エネルギー	新たな再生可能エネルギーの有効活用	自営線ネットワークに係る視察受入件数（件/累計）	27	80	81	101%	A	120	94	企画課
			再生可能エネルギーの有効活用及び適切な運用によるCO2年間排出削減量（t/年）	251	363	349	96%	A	363		
12	住宅	活かされる、空き家など対策計画の策定検討	定住促進住宅奨励制度による中古住宅購入者（件/年）	4	3	8	267%	A	3	106	企画課 建設水道課
			新規空き家バンク登録住宅件数（件/年）	0	1	3	300%	A	3		
13	情報通信	情報格差対策	スマホ教室の開催数（件/累計）	7	40	35	88%	A	60	122	企画課
			老人会などの各種会議体での啓発数（件/累計）	11	26	25	96%	A	52		
14	情報通信	デジタルツールの導入	業務効率化の為にデジタルツール導入数（種）	1	2	3	150%	A	3	122	総務課 企画課
			公共サービス向上の為にデジタルツール導入数（種）	3	7	8	114%	A	8		
15	瓜幕地域の振興	自然体験留学制度の充実	留学制度による親子留学者数（人）	11	10	10	100%	A	10	136	瓜幕支所
			留連協事業部による各種自然体験事業数（事業）	7	7	7	100%	A	7		
16	財政運営	行財政改革の推進	行財政改革の執行による経常的経費の削減効果額（千円）	△ 322,867	△ 500,000	△ 434,318	—	Y	△ 500,000	142	総務課
			企業版ふるさと納税寄附額（千円/累計）	4,600	30,000	3,988	13%	D	50,000		

NO.	基本計画名	施策名	指標内容	現状値 2022(R4)年度	単年度目標値 2025(R7)年度	実績値 2025(R7)年度	単年度 目標達成率	評価	最終目標値 2027(R9)年度	総合計画 ページ	担当課
2.「魅力最大化」プロジェクト											
17	観光	道の駅しかおいを核とする観光拠点づくり	道の駅しかおい入込客数（人）	140,600	156,000	150,200	96%	A	165,400	90	商工観光課
			道の駅しかおいエリアでのイベント数（回）	0	12	12	100%	A	12		
18	ジオパーク	ジオパークの地域住民への浸透	とちぎ鹿追ジオパークビジターセンター来館者数（人）	3,139	3,500	3,622	103%	A	3,500	92	ジオパーク推進課
			講座・ツアー等の受講者数（人）	728	850	1,067	126%	A	1,000		
19	農業（安心・安全な農業）	安心・安全な農畜産物の需要拡大	各種イベント等における農畜産物需要拡大PR・普及活動の回数（回）	6	6	9	150%	A	6	78	農業振興課
			乳製品消費拡大PR回数（回）	7	7	12	171%	A	7		
20	学校教育	外国語教育の充実	高3CEFR-B1相当以上の生徒の割合（%）	測定値なし	40	20	50%	C	50	50	学校教育課
			英語学習への積極性（%）	測定値なし	88	90	102%	A	95		
21	学校教育	探求教育の充実	異なる意見への探求心指標（%）	測定値なし	75	81	108%	A	80	52	学校教育課
			自ら課題を発見し解決する力（%）	測定値なし	68	78	115%	A	75		
22	学校教育	イノベーションを担う人材育成	協働的な課題解決力（%）	測定値なし	90	94	104%	A	90	52	学校教育課
			主体的に関わる自己認識で肯定的に回答する鹿追高校生の割合（%）	測定値なし	60	64	107%	A	70		
23	学校教育	学校段階間・学校と社会の接続推進	地域・社会貢献への意欲（%）	測定値なし	90	85	94%	A	90	54	学校教育課
			将来に向けた目標意識（%）	測定値なし	72	71	99%	A	75		
24	学校教育	主観的ウェルビーイングの向上	幸福感の実感（%）	測定値なし	95	100	105%	A	95	56	学校教育課
			学校生活の充実感（%）	測定値なし	66	87	132%	A	70		

NO.	基本計画名	施策名	指標内容	現状値 2022(R4)年度	単年度目標値 2025(R7)年度	実績値 2025(R7)年度	単年度 目標達成率	評価	最終目標値 2027(R9)年度	総合計画 ページ	担当課
3.「つながり」プロジェクト											
25	高齢者福祉	地域包括ケアシステムを 推進する体制の充実	地域包括支援センター・居宅支援事業所の 新規相談件数（件）	419	420	364	87%	A	460	46	保健福祉課
			医療介護福祉の機関との会議開催数 （回）	6	12	5	42%	C	12		
26	地域福祉	包括的な支援体制の整備	福祉重層的支援定例会数（回）	8	10	3	30%	B	12	48	保健福祉課
			相談支援件数（件）	5	10	14	140%	A	10		
27	学習活動（公民 館分館）	コミュニティ・スクール と地域学校協働活動の一 体的推進	地域学校協働活動実施数（回）	18	19	52	274%	A	20	64	社会教育課
			人材バンクを活用した事業実施数（回）	0	3	5	167%	A	7		
28	芸術文化	人材バンクの活用	人材バンクを活用した事業実施数（回）	2	4	5	125%	A	5	66	社会教育課
			ライフアカデミーマイスター登録者数 （人）	26	28	56	200%	A	30		
29	商工業	道の駅しかおい・うりま く、観光協会との連携	町外道の駅との連携イベントの実施回数 （回）	0	5	4	80%	A	5	84	商工観光課
			道の駅しかおい、うりま く入込数（人）	154,133	177,000	165,100	93%	A	187,000		
30	防災	防災意識の普及と防災体 制の充実強化	行政区等を対象とした防災訓練等の回数 （回）	5	10	7	70%	B	5	110	町民課
			避難所運営マニュアル等の改定（事業）	1	2	2	100%	A	2		
31	交流	国際姉妹都市との交流促 進	受入れホスト家庭数（戸）	318	342	344	101%	A	358	126	企画課
			国際交流事業に参加した鹿追町民の数 （人/年）	220	80	101	126%	A	100		
32	コミュニティ	町民の町政参加機会の拡 充	各種審議会委員などの無作為抽出選出件 数（件/年）	0	1	0	0%	D	1	128	企画課
			公募による会議などへの参加件数（件/ 年）	0	1	1	100%	A	1		

NO.	基本計画名	施策名	指標内容	現状値 2022(R4)年度	単年度目標値 2025(R7)年度	実績値 2025(R7)年度	単年度 目標達成率	評価	最終目標値 2027(R9)年度	総合計画 ページ	担当課
33	コミュニティ	広報広聴活動の拡充	ふれあいトークへの参加人数（人）	56	200	69	35%	D	300	128	企画課
			鹿追お知らせメール登録件数（件）	1,663	2,100	3,068	146%	A	2,300		
34	コミュニティ	住民自治組織の育成	行政区支援事業への参加件数（件）	8	28	12	43%	C	35	128	企画課
			職員等による出前講座、勉強会などの開催回数（回）	14	15	13	87%	A	20		

評価	全68指標のうち 各評価の数	割合	評価基準
A	57	83.8%	（目標に向けて）非常に効果があった
B	3	4.4%	（目標に向けて）概ね効果があった
C	3	4.4%	どちらとも言えない
D	3	4.4%	（目標に向けて）あまり効果的ではなかった
E	0	0.0%	（目標に向けて）効果的ではなかった
Y	2	2.9%	次年度以降実施

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

	担当課・係	保健福祉課 健康推進係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	健（検）診内容の充実と事後指導の充実
	施策の概要	健康診査や保健指導等による生活習慣病の発症・重症化予防に取り組み、健康増進への支援を図ります。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	特定健診受診率（％）	-	-	48.3	58	特定健診を受けた方の割合
施策と指標の関連性	特定健診の受診率上昇することで、生活習慣病の予防・早期発見に繋がることから特定健診受診率を指標とした。					

評価総括表					事業の点検			目標 達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	3,760	3,760	2,495	52	44	A	85%	集団健診のWEB予約開始
	2025	3,760	3,804	2,301	54	46	A	85%	個別での受診しやすい体制を整備する。
	2026	3,760	3,078		56				健診受診率向上に向けて関係機関と受診勧奨方法について検討
	2027	3,760			58				健診受診率向上に向けて関係機関と受診勧奨方法について検討
単位	千円	千円	千円	%	%				

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標										
具体的な方針		具体的な事業内容							実施体制		
特定健診受診率向上を図り、生活習慣病の早期発見・早期治療に繋げる。		・生活習慣病予防や健診受診の必要性に関する情報を普及・啓発することで健康意識の向上・生活習慣改善を図る。 ・特定健診の受診率が向上し、生活習慣病の早期発見に繋げることが出来る。							・保健福祉課 ・関係医療機関 ・北海道・国保連合会 ・事業委託先		
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個別健診データ受領											
	・特定健診受診券送付（資料同封）	・集団健診					・集団健診		・集団健診		
Check		「Do」の結果・チェックなど									
結 果		評価参考基準			実績値の把握方法			ふりかえり総括（結果（A～Z）の理由を記載）			
A		A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了			特定健診実績			目標からの達成度としてはAの評価となるが、特定健診の受診率は年々低下しており、受診率向上のための対策が必要となっている。			
Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など										
Planの変更点 （事業方針や内容など）				Doの変更点 （スケジュールなど）				Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）			
令和7年度より個別健診委託を1医療機関→2医療機関へ変更、みなし健診委託を1医療機関→3医療機関へ拡大し、より町民が特定健診を受診しやすい体制を整え、受診率向上を図る。				特定健診受診のリピート率を上げるために、文書送付による受診勧奨のみではなく、保健師・管理栄養士の専門職による電話勧奨も行っていく。 また、健診の必要性についても町民へ周知していきたい。				受診率低下につながっている要因など、受診者の傾向を分析し、より受けやすい体制づくりを検討する。			

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

	担当課・係	保健福祉課 健康推進係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	健（検）診内容の充実と事後指導の充実
	施策の概要	健康診査や保健指導等による生活習慣病の発症・重症化予防に取り組み、健康増進への支援を図ります。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	結果説明会出席率 (%)	-	-	85.1	89	結果説明会に來所された方の割合
施策と指標の関連性	集団健診実施後、受診者全員を対象に実施している。受診者自身の生活習慣を見直し及び継続受診を促すことを目的とした本事業の出席率を指標とした。					

評価総括表					事業の点検			目標 達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	89	89	89	86	88	A	102%	結果説明会の事後支援として、健康相談会の実施検討。
	2025	90	107	100	87	91	A	105%	健康相談会を実施し、事後支援を充実させる。
	2026	90	107		88				健指導や健康教育等、事業の評価・見直しを行っていく
	2027	90			89				健指導や健康教育等、事業の評価・見直しを行っていく
単位		千円	千円	千円	%	%			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標	
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
保健指導の充実を図ることで、生活習慣改善・早期治療に繋げる	・健診受診後に保健師・管理栄養士による結果説明・保健指導を行い、生活習慣の見直し及び継続受診を促すことで生活習慣病の発症予防・重症化予防を図る。 ・結果説明会の事後支援として、健康相談会を実施する。 ・健康教育としての、生活習慣病予防の啓発を行う。	・保健福祉課 ・関係医療機関

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	集団健診の周知	・集団健診の実施	・結果説明会案内 ・結果説明会実施			健康相談会	・集団健診実施	・結果説明会案内 ・結果説明会実施	・集団健診実施	・結果説明会案内 ・結果説明会実施	

Check	「Do」の結果・チェックなど		
結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	結果説明会実績	結果説明会については、多くの方が出席し、個別に指導を受ける機会となっている。引き続き、結果説明を受けるまでが検診であるという意識を持ってもらえるよう伝えていく。

Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
より効果のある指導をしていくため、結果説明会だけでなく、個別に指導できる機会を設けていく。	特定保健指導の方には、結果説明会後にも指導できる機会として、健康相談会を引き続き実施していく。	結果説明会の出席率だけでなく、医療費の分析等で健康状態を確認していく。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

	担当課・係	保健福祉課 健康推進係・子育て支援課 子育て支援係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	子育て世代の包括的支援
	施策の概要	妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援のために、こども家庭センターを設置し、きめ細やかな相談体制を整えとともに、総合的な支援体制の構築を図る。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	この地域で子育てしたいと思う保護者の割合（％）	98	100	96	100	この地域で子育てしたいと思う保護者の割合
施策と指標の関連性		子育て世代への総合的な支援体制を構築し、支援体制への満足度を向上させたいため、この指標とした。				

評価総括表					事業の点検			目標 達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	7,324	6,585	5,959	98	94	A	96%	子育て世代包括支援センター設置
	2021	4,500	-	-	98	90	A	92%	子育て世代包括支援センターについて広く周知
	2022	4,500	-	-	100	96	A	96%	親同士がつながれるような支援・サービスについての充実
	2023	4,500	-	-	100	82	A	82%	手厚い支援が必要な親子への支援の充実
	2024	-	-	-	85	90	A	106%	子育て世代から、子育て支援に対する意見を聞く場を設置
	2025	-	-	-	90	87	A	97%	こども計画策定に伴うアンケートの実施
	2026	-	-		95				地域で子育てを見守るサポート体制の充実
	2027	-			100				地域で子育てを見守るサポート体制の充実
	単位	千円	千円	千円	%	%			

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標	
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
楽しく子育てするための、サポート体制の充実を図る。	・町民のニーズを反映したこども計画を策定する。 ・子どもとの関わりについて学んだり、交流する場づくりをしていく。 ・乳幼児相談や産後ケア等、相談体制の充実を図る。	・保健福祉課 ・子育て支援課 ・教育委員会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
こども計画策定準備・立案												→
9カ月児相談（新規）			プレ保育（新規）									→
												→

Check	「Do」の結果・チェックなど		
結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	乳幼児健診時のアンケート	プレ保育や相談回数を増やすなどして、安心して子育てできる資源を充実させており、高い割合を維持している。しかし、昨年よりは鹿追町で子育てしたい割合は減少している。

Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など		
Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Do の変更点 (スケジュールなど)	Check の変更点 (チェックの体制・方法など)	
昨年度策定した子ども計画のアンケート結果を踏まえ、町民のニーズを把握し、より充実した子育て体制を整えていきたい。	ニーズに応じて、町でできることを検討し、実施に向けていきたい。	乳幼児健診や相談の場面、子育て支援センターやこども園で把握している親の声などから確認し、引き続きアンケートでも評価していく。	

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

	担当課・係	保健福祉課 健康推進係・子育て支援課 子育て支援係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	子育て世代の包括的支援
	施策の概要	妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援のために、こども家庭センターを設置し、きめ細やかな相談体制を整えとともに、総合的な支援体制の構築を図る。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	こども家庭センターを知っている妊婦の割合(%)	42.3	50	43	50	母子健康手帳交付時の段階で確認する、知っている妊婦の割合
施策と指標の関連性		早い段階から相談場所を知っていることで、心配事に対して早期に対応できることにつながるため、この指標とした。				

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	50	43	A	86%	若い世代への子育てに関する相談場所への周知
	2023	-	-	-	50	42	A	83%	こども家庭センターについて設置検討
	2024	-	-	-	45	60	A	133%	こども家庭センターについて広く周知
	2025	-	-	-	45	48	A	107%	乳幼児健診・相談の体制についての見直し
	2026	-	-		50				関係機関と連携とネットワークを構築する
	2027	-			50				こどもに関わる切れ目のない支援体制を整備する
	単位	千円	千円	千円	%	%			

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標	
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
様々な相談に早期に対応できるよう、相談体制を充実させる。	- こども家庭センターについて、引きつづき一般町民に向けて様々な媒体を通して、広く周知する。 - 多機関で連携し支援できるようケース会議を開催する。 - より相談しやすい体制づくりとして、プレ保育や9カ月児相談等、新規の事業の開催や、産後ケア等既存事業を充実する。	- 保健福祉課 - 子育て支援課 - 教育委員会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
9カ月児相談（新規）		広報、アプリ等での周知	プレ保育（新規）									

Check	「Do」の結果・チェックなど		
結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括（結果（A～Z）の理由を記載）
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	母子健康手帳交付時のアンケート	令和6年度よりこども家庭センターが設置され、広報や健康教育の場面等で周知してきたがため、目標は達成できている。しかし、認知度としては高くないため、さらなる周知等が必要と思われる。

Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など		
Plan の変更点 （事業方針や内容など）	Do の変更点 （スケジュールなど）	Check の変更点 （チェックの体制・方法など）	
より相談しやすい総合相談窓口として、町民の方に、よりわかりやすく周知していくとともに、引き続き切れ目のない相談体制の充実を図る。	早期に相談対応していけるよう、一般町民に向けてだけでなく、こどもに関係する機関の職員にも周知を図る。また、こども家庭センターの業務内容についても引き続き協議していく。	個別の支援から早期に相談対応できているか、切れ目なく支援できているかを評価していく。また、関係機関や一般町民についても、こども家庭センターについての認知度を確認していく。	

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	社会教育課 社会教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	青少年の健全育成
	施策の概要	インターネット利用に関する「親子のルールづくり」など、家庭における適切な生活習慣の定着に向けた取り組みを推進します。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	親子で使用ルールを決めている児童・生徒の割合(%)	-	-	測定値なし	30	ルールを決めている児童・生徒の割合
施策と指標の関連性	ルールづくりを決めている数については施策の直接的な指標となるため。					

	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
評価総括表	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	20	20	0	5	0	Y	0%	・インターネット・スマートフォン等の使用ルールの普及啓発
	2025	20	20	0	10	17	A	170%	・インターネット・スマートフォン等の使用ルールの普及啓発
	2026	20	20		20				・インターネット・スマートフォン等の使用ルールの普及啓発
	2027	20			30				・インターネット・スマートフォン等の使用ルールの普及啓発
	単位	千円	千円	千円	%	%			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標											
具体的な方針		具体的な事業内容								実施体制		
インターネット・スマートフォン等の使用ルールの定着		・インターネット・スマートフォン等の使用ルールの普及啓発								教育委員会社会教育課 鹿追町社会教育委員の会		
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
普及啓発	普及啓発	普及啓発	普及啓発	普及啓発	普及啓発	普及啓発	普及啓発	普及啓発	普及啓発 アンケート	普及啓発 アンケート	普及啓発 アンケート 集計	
Check	「Do」の結果・チェックなど											
結 果	評価参考基準				実績値の把握方法				ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)			
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				学校を通してのアンケート調査				・目標達成率が8割以上のためAとした。			
Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など											
Plan の変更点 (事業方針や内容など)				Doの変更点 (スケジュールなど)				Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)				
年間を通して、児童・生徒向けの普及方法について検討する。				実施時期について検討を行う				学校などへの聞き取りなどにより実施する。				

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

プロジェクトの概要	担当課・係	社会教育課 社会教育係
	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	青少年の健全育成
	施策の概要	インターネット利用に関する「親子のルールづくり」など、家庭における適切な生活習慣の定着に向けた取り組みを推進します。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	挨拶の習慣が身についている児童・生徒数の割合(%)	-	-	測定値なし	80	挨拶の習慣が身についている児童・生徒数の割合
施策と指標の関連性	挨拶については社会生活を行う上で大切なことから指標とした。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	20	20	21	20	0	Y	0%	・こども園、各小中学校でのあいさつ運動の実施 ・こども園、各地域保育所での読み聞かせの実施 ・すくすく運動、普及啓発の実施
	2025	20	21	0	40	79	A	198%	・こども園、各小中学校でのあいさつ運動の実施 ・こども園、各地域保育所での読み聞かせの実施 ・すくすく運動、普及啓発の実施
	2026	20	21		60				・こども園、各小中学校でのあいさつ運動の実施 ・こども園、各地域保育所での読み聞かせの実施 ・すくすく運動、普及啓発の実施
	2027	20			80				・こども園、各小中学校でのあいさつ運動の実施 ・こども園、各地域保育所での読み聞かせの実施 ・すくすく運動、普及啓発の実施
単位		千円	千円	千円	%	%			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan

関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標

具体的な方針

具体的な事業内容

実施体制

すくすく運動の実施

- ・こども園、各小中学校でのあいさつ運動の実施
- ・こども園、各地域保育所での読み聞かせの実施
- ・すくすく運動、普及啓発の実施

教育委員会社会教育課
鹿追町社会教育委員の会

Do

「Plan」を実行するためのスケジュール・内容

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
普及啓発	普及啓発	普及啓発	普及啓発	あいさつ運動、読み聞かせ準備 普及啓発	あいさつ運動 読み聞かせ	あいさつ運動 読み聞かせ	普及啓発	普及啓発	普及啓発	普及啓発	普及啓発

Check

「Do」の結果・チェックなど

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	学校を通してのアンケート調査	・こども園、各小中学校でのあいさつ運動やこども園での読み聞かせを実施できた。また目標達成率が8割以上のためAとした。

Action

Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
社会教育委員など協力いただきながら継続的に事業を実施していく	実施時期について検討を行う	学校などへの聞き取りなどにより実施する。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	社会教育課 社会教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	高齢者の生涯学習の推進
	施策の概要	高齢者学級「ヌブカウシ白寿大学」により、ニーズに応じた多様な学習・体験機会と生きがいを創出する取り組みを推進します。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	ヌブカウシ白寿大学生徒数（人）	-	-	40	50	ヌブカウシ白寿大学生徒数
施策と指標の関連性	学生の数が増えることにより、多くの人が学びの機会を得ることが出来る事から指標とした。					

評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	223	223	125	42	41	A	98%	・実技班活動の実施 ・白寿大学祭の開催 ・社会科見学、修学旅行の実施
	2025	223	223	144	45	37	A	82%	・実技班活動の実施 ・白寿大学祭の開催 ・社会科見学、修学旅行の実施
	2026	223	221		48				・実技班活動の実施 ・白寿大学祭の開催 ・社会科見学、修学旅行の実施
	2027	223			50				・実技班活動の実施 ・白寿大学祭の開催 ・社会科見学、修学旅行の実施
単位	千円	千円	千円	千円	人	人			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
体験活動、講座などの学習や実技活動など各々の教養や技術の向上	・実技班活動の実施 ・白寿大学祭の開催 ・社会科見学、修学旅行の実施	教育委員会社会教育課

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
準備	開級式	活動	活動	活動	活動	活動	活動	活動	活動	活動	修了式

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	学生数実績	・生徒数については前年度から4名減となってしまったが、事業についてはおおむね計画通り実施する事が出来た。 ・目標達成率が8割以上のためAとした。

Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 （事業方針や内容など）	Doの変更点 （スケジュールなど）	Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）
町民ホールが改修に入ってしまうため、事業内容について検討していく	会場が変更となる事による不具合等があった場合は見直していく	学生数の実績値により把握していく

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	社会教育課 社会教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	高齢者の生涯学習の推進
	施策の概要	多様な技術や経験を有するシニア層が活躍できる環境の整備を図ります。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	ライフアカデミーマスターに登録しているシニア層の人数(人)	-	-	10	20	ライフアカデミーマスターに登録しているシニア層の人数
施策と指標の関連性	登録者数が増えることにより、活躍や活動の幅が広がる事から指標とした。					

	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
評価総括表	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	46	46	0	12	9	B	75%	・人材バンク登録者充実のための学校からの情報収集 ・各学校への制度の周知及び名簿の提供 ・人材バンク登録者の活用
	2025	46	46	0	14	24	A	171%	・人材バンク登録者充実のための学校からの情報収集 ・各学校への制度の周知及び名簿の提供 ・人材バンク登録者の活用
	2026	46	46		16				・人材バンク登録者充実のための学校からの情報収集 ・各学校への制度の周知及び名簿の提供 ・人材バンク登録者の活用
	2027	46			20				・人材バンク登録者充実のための学校からの情報収集 ・各学校への制度の周知及び名簿の提供 ・人材バンク登録者の活用
	単位	千円	千円	千円	人	人			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標											
具体的の方針			具体的な事業内容								実施体制	
ライフアカデミーマスター制度の活用			・人材バンク登録者充実のための学校からの情報収集 ・各学校への制度の周知及び名簿の提供 ・人材バンク登録者の活用								教育委員会社会教育課	
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	
周知	周知	周知	周知	周知	周知	周知	周知	周知	周知	周知	周知	
活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	
Check	「Do」の結果・チェックなど											
結 果		評価参考基準				実績値の把握方法			ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)			
A		A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				登録者数実績			・目標達成率が8割以上のためAとした。			
Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など											
Plan の変更点 (事業方針や内容など)				Doの変更点 (スケジュールなど)				Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)				
シニア層が活躍できるよう、周知を行っていく				より良いスケジュールが無いか検討を行う				登録者実績数により把握していく				

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	農業振興課 耕地整備係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	農業基盤整備事業の推進
	施策の概要	農村景観や環境保全に配慮した国営・道営事業等による農業基盤整備事業を計画的に実施する。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	国営・道営事業による農業基盤整備事業実施地区数（地区/年）	5	4	4	4	国営・道営事業による農業基盤整備事業実施地区数
施策と指標の関連性	施策として行う農業基盤整備事業を実施した数を指標とした。					

評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	500,000	320,000	216,000	5	5	A	100%	基盤整備事業地区 ・国営かんがい排水事業 笹川地区地区調査 ・道営かんがい排水事業 瓜幕地区 ・道営担い手畑総事業 東瓜幕地区 ・道営担い手畑総事業 北瓜幕地区 ・道営草地灌漑基盤整備事業 上郷内地区
	2021	500,000	298,200	240,186	4	4	A	100%	基盤整備事業地区 ・国営かんがい排水事業 笹川地区地区調査 ・道営かんがい排水事業 瓜幕地区 ・道営担い手畑総事業 東瓜幕地区 ・道営担い手畑総事業 北瓜幕地区
	2022	300,000	315,000	224,800	3	4	A	100%	基盤整備事業地区 ・国営かんがい排水事業 笹川地区地区調査 ・道営かんがい排水事業 瓜幕地区 ・道営担い手畑総事業 美曇高台地区
	2023	300,000	290,000	150,500	4	4	A	100%	基盤整備事業地区 ・国営かんがい排水事業 笹川地区 ・道営担い手畑総事業 東瓜幕地区 ・道営担い手畑総事業 美曇高台地区 ・道営担い手畑総事業 笹川地区
	2024	500,000	446,000	390,000	4	4	A	100%	基盤整備事業地区 ・国営かんがい排水事業 笹川地区 ・道営担い手畑総事業 東瓜幕地区 ・道営担い手畑総事業 美曇高台地区 ・道営担い手畑総事業 笹川地区
	2025	500,000	300,200	213,356	4	4	A	100%	基盤整備事業地区 ・国営かんがい排水事業 笹川地区 ・道営担い手畑総事業 美曇高台地区 ・道営担い手畑総事業 笹川地区 ・道営農村整備事業 瓜幕地区
	2026	600,000	330,200		5				基盤整備事業地区 ・国営かんがい排水事業 笹川地区 ・道営担い手畑総事業 美曇高台地区 ・道営担い手畑総事業 笹川地区 ・道営担い手畑総事業 中越地区 ・道営農村整備事業 瓜幕地区
	2027	800,000			5				基盤整備事業地区 ・国営かんがい排水事業 笹川地区 ・道営担い手畑総事業 美曇高台地区 ・道営担い手畑総事業 笹川地区 ・道営担い手畑総事業 中越地区 ・道営農村整備事業 瓜幕地区
単位	千円	千円	千円	千円	地区	地区			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標													
具体的な方針			具体的な事業内容						実施体制					
農業農村整備事業の計画的な推進			・国営かんがい排水事業 笹川地区 ・道営担い手畑総事業 美曇高台地区 ・道営担い手畑総事業 笹川地区 ・道営農村整備事業 瓜幕地区						・農業振興課 ・農業関係機関 ・町民					
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容													
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
入札	→	調査及び工事実施									→			
Check	「Do」の結果・チェックなど													
結 果			評価参考基準			実績値の把握方法			ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）					
A			A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了			事業実績			全体的に当初スケジュールを変更することなく、事業計画とおり整備が進んでいる。					
Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など													
Plan の変更点 （事業方針や内容など）			Doの変更点 （スケジュールなど）			Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）								
当初の事業計画通り整備が進んでおり、変更点はないが、地域要望に応じて引き続き事業実施について検討する。			変更点はないが、悪天候や社会情勢等による変更が生じた場合は、関係受益者と調整を図る。			関係機関と連携し、受益者と調整を図りながら円滑に整備を進める。								

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	農業振興課 耕地整備係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	農業基盤整備事業の推進
	施策の概要	農村景観や環境保全に配慮した国営・道営事業等による農業基盤整備事業を計画的に実施する。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	多面的機能支払交付金執行率（％）	100	100	100	100	多面的機能支払交付金執行率
施策と指標の関連性	環境保全活動として実施している多面的機能支払交付金事業の執行率を指標とした。					

評価 総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標 達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	100,000	101,405	101,369	100	100	A	100%	多面的機能支払交付金事業 （地域資源保全・向上、施設長 寿命化、組織体制強化など）
	2021	100,000	101,369	101,342	100	100	A	100%	多面的機能支払交付金事業 （地域資源保全・向上、施設長 寿命化、組織体制強化など）
	2022	100,000	101,342	101,323	100	100	A	100%	多面的機能支払交付金事業 （地域資源保全・向上、施設長 寿命化、組織体制強化など）
	2023	100,000	101,323	101,323	100	100	A	100%	多面的機能支払交付金事業 （地域資源保全・向上、施設長 寿命化、組織体制強化など）
	2024	100,000	101,297	101,296	100	100	A	100%	多面的機能支払交付金事業 （地域資源保全・向上、施設長 寿命化、組織体制強化など）
	2025	100,000	101,294	101,294	100	100	A	100%	多面的機能支払交付金事業 （地域資源保全・向上、施設長 寿命化、組織体制強化など）
	2026	100,000	101,272		100				多面的機能支払交付金事業 （地域資源保全・向上、施設長 寿命化、組織体制強化など）
	2027	100,000			100				多面的機能支払交付金事業 （地域資源保全・向上、施設長 寿命化、組織体制強化など）
単位	千円	千円	千円	千円	％	％			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan

関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
環境保全活動を継続的に実施	・多面的機能支払交付金事業	・農業振興課 ・農業関係機関 ・町民

Do

「Plan」を実行するためのスケジュール・内容

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
多面的機能 支払交付金 事業による 環境保全活 動											→

Check

「Do」の結果・チェックなど

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	実績報告書	全体的に当初スケジュールを変更することなく、事業計画とおり活動が実施せれており、本事業に対する理解や評価も良い。

Action

Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など

Plan の変更点 （事業方針や内容など）	Doの変更点 （スケジュールなど）	Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）
当初の事業計画通り活動が実施されており、変更点はないが、引き続き本事業を計画的に実施する。	変更点はないが、悪天候や地域情勢等による変更が生じた場合は、活動組織と調整を図る。	実績報告書等により実施状況を確認し、指導・助言を行う。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	農業振興課 環境保全センター係
-------	-----------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	バイオガスの有効活用・推進
	施策の概要	家畜ふん尿処理施設であるバイオガスのさらなる有効活用を推進するとともに未整備地区の整備を推進します。さらにF I T終了後を見据え、バイオガスエネルギーの有効活用を推進するため、水素燃料や熱利用等についての調査・研究を実施します。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	家畜排せつ物等のバイオマス資源の活用量(t/年)	152,500	181,000	176,398	181,000	家畜排せつ物等のバイオマス資源の年間活用量
施策と指標の関連性	バイオガスの有効活用を図る上で原料の安定確保が重要であるため、この指標とした。					

評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	300,000	448,177	287,161	160,000	161,534	A	101%	バイオガスの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討。マスタープランの策定。
	2021	300,000	285,593	284,316	167,500	161,652	A	97%	バイオガスの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討。
	2022	300,000	343,559	346,076	175,000	176,398	A	101%	バイオガスの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討。
	2023	300,000	329,292	342,595	181,000	173,563	A	96%	バイオガスの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討。
	2024	300,000	408,638	399,954	181,000	173,707	A	96%	バイオガスの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討。
	2025	300,000	346,862	352,437	181,000	175,072	A	97%	バイオガスの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討。
	2026	300,000	431,436		181,000				バイオガスの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討。
	2027	300,000			181,000				バイオガスの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討。
単位	千円	千円	千円	千円	t	t			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標										
具体的な方針		具体的な事業内容	実施体制								
既存のバイオガスの安定稼働を図るとともにマスタープランに基づいた未整備地区バイオガスの検討。		・鹿追町環境保全センターの安定稼働 ・マスタープランに基づく未整備地区バイオガスの検討 ・しかおい水素ファーム事業の推進	・町長、副町長 ・農業振興課 ・農業関係機関								
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・鹿追町環境保全センターの安定稼働 ・未整備地区バイオガスの検討 ・しかおい水素ファーム事業の推進											
Check	「Do」の結果・チェックなど										
結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)								
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	バイオマス施設の実受 入量	バイオガスの安定稼働により、家畜排せつ物等の廃棄物がバイオマス資源として有効活用された。								
Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など										
Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)									
既存施設については、老朽化等により設備等の更新・修繕を行い、安定稼働できる体制を整える。また、未整備地区へのバイオガスプラントについては、参加酪農家との合意形成を行う。また、建設地の検討を早急に行い、施設規模や事業費の積算を行う。	安定稼働を図るため、設備等の更新や修繕の必要性を検討する。未整備地区へのバイオガスプラントについては、参加酪農家との合意形成、建設候補地の選定、施設規模や事業費等を調査する。	施設や設備のトラブルを未然に防止するため、日々のチェック体制を徹底する。									

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	農業振興課 環境保全センター係
-------	-----------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	バイオガスプラントの有効活用・推進
	施策の概要	家畜ふん尿処理施設であるバイオガスプラントのさらなる有効活用を推進するとともに未整備地区の整備を推進します。さらにF I T終了後を見据え、バイオガスエネルギーの有効活用を推進するため、水素燃料や熱利用等についての調査・研究を実施します。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	メタン発酵過程で生産されるエネルギー (m3/年)	4,994,000	5,200,000	5,105,913	5,200,000	メタン発酵過程で生産されるバイオガス製造量
施策と指標の関連性	バイオガスプラントの有効活用を図る上でバイオマスエネルギーの有効活用が重要であるため、この指標とした。					

評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	5,200,000	5,105,913	A	98%	バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討
	2023	-	-	-	5,200,000	5,029,646	A	97%	バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討
	2024	-	-	-	5,200,000	4,969,186	A	96%	バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討
	2025	-	-	-	5,200,000	4,685,875	A	90%	バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討
	2026	-	-	-	5,200,000				バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討
	2027	-	-	-	5,200,000				バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討
単位	千円	千円	千円	千円	m3	m3			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan		関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標										
具体的な方針			具体的な事業内容							実施体制		
既存のバイオガスプラントの安定稼働を図るとともにマスタープランに基づいた未整備地区バイオガスプラントの検討			・鹿追町環境保全センターの安定稼働 ・マスタープランに基づく未整備地区バイオガスプラントの検討 ・しかおい水素ファーム事業の推進							・町長、副町長 ・農業振興課 ・農業関係機関		
Do		「Plan」を実行するためのスケジュール・内容										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
・鹿追町環境保全センターの安定稼働 ・未整備地区バイオガスプラントの検討 ・しかおい水素ファーム事業の推進												
Check		「Do」の結果・チェックなど										
結 果		評価参考基準				実績値の把握方法			ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)			
A		A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				メタン発酵によるバイオガス製造量			ふん尿の適正処理施設としての役割を果たしており、安定したメタン発酵及び原料受入体制の維持により、バイオガス製造量も計画値に近い水準で安定して推移している。 R7については、帳票データの不備によりデータが取れていない日があり、ガス発生量が例年に比べ少なく記録されている。			
Action		Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など										
Plan の変更点 (事業方針や内容など)				Doの変更点 (スケジュールなど)				Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)				
安定的なバイオガス生産を図るため、発酵槽内の温度や硫化水素濃度、VFAの状況を定期的に確認する。				安定的なバイオガス利用を図るため、発電機や水素施設等の定期点検を実施する。				季節ごとのバイオガス利用量等のデータを収集し、効率的なバイオガス利用を推進する。 また、帳票データがきちんと蓄積されるよう、日々の機器管理を徹底する。				

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	商工観光課 商工労政係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	商工会経営改善・一般事業の推進
	施策の概要	商工会による経営指導体制の強化や人材育成による経営管理能力の向上に向けて行政と関係団体との連携を図りつつ、各種融資制度や諸施策を充実させ、町内企業の経営の安定化、資金調達の円滑化により企業への支援を図ります。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	小規模事業者に対する相談・指導実施割合(%)	-	-	161	100	経営相談・巡回指導件数
施策と指標の関連性		経営改善事業として金融・税務・労務をはじめ経営全般をサポートするため、巡回・窓口での小規模事業者（商工会員外を含む）からの相談・指導の実施割合を指標とした。				

評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	32,225	34,259	28,185	100	149	A	149%	・経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） ・事業資金利子補給事業
	2025	32,225	30,429	29,594	100	120	A	120%	・経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） ・事業資金利子補給事業
	2026	32,225	19,254		100				・経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） ・事業資金利子補給事業
	2027	32,225			100				・経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） ・事業資金利子補給事業
単位		千円	千円	千円	%	%			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標										
具体的な方針		具体的な事業内容							実施体制		
町内企業の経営の安定、資金調達の円滑化等に取り組む		・商工会による経営改善普及事業、商工会一般事業、近代化推進活動等各事業への経営支援について、事業所の形態に合わせ、柔軟に対応するため、経営相談等を推進します。 ・町、道、国と連携し、商工業資金利子補給事業やその他支援制度について、巡回、窓口相談により推進します。							鹿追町 鹿追町商工会		
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
商工会各種補助				途中経過確認				途中経過確認		利子補給実施	事業評価委員会
Check	「Do」の結果・チェックなど										
結 果	評価参考基準				実績値の把握方法			ふりかえり総括（結果（A～Z）の理由を記載）			
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				商工会の総会議案で確認する。			事業者が抱える課題に対して、経営戦略や事業計画の提案を行い問題点の解決や新たな販売機会の創出や健全な売上増加、利益確保に向けて税務、金融支援や労働などについてきめ細かく対応するため、巡回指導、窓口相談を前年度と比較すると微減しているが、目標値に対しては120%のためAとした。			
Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など										
Plan の変更点（事業方針や内容など）				Doの変更点（スケジュールなど）				Checkの変更点（チェックの体制・方法など）			
町内企業の経営の安定、資金調達の円滑化、労働環境整備による人員確保等に取り組む				途中経過確認を8月と12月の2回確認に増やす				実績値の把握方法について、議案確認以外に巡回指導シートや窓口相談シートの確認を追加			

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	商工観光課 商工労政係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	商工会経営改善・一般事業の推進
	施策の概要	商工会による経営指導体制の強化や人材育成による経営管理能力の向上に向けて行政と関係団体との連携を図りつつ、各種融資制度や諸施策を充実させ、町内企業の経営の安定化、資金調達の円滑化により企業への支援を図ります。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	商工会員に対する相談・指導実施割合(%)	-	-	176	100	経営相談・巡回指導件数
施策と指標の関連性	経営改善事業として金融・税務・労務をはじめ経営全般をサポートするため、巡回・窓口での商工会員からの相談・指導の実施割合を指標とした。					

評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	32,225	34,259	28,185	100	184	A	184%	・経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） ・事業資金利子補給事業
	2025	32,225	30,429	29,594	100	90	A	90%	・経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） ・事業資金利子補給事業
	2026	32,225	19,254		100				・経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） ・事業資金利子補給事業
	2027	32,225			100				・経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） ・事業資金利子補給事業
単位	千円	千円	千円	千円	%	%			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
町内企業の経営の安定、資金調達の円滑化等に取り組む	・商工会による経営改善普及事業、商工会一般事業、近代化推進活動等各事業への経営支援について、事業所の形態に合わせ、柔軟に対応するため、経営相談等を推進します。 ・町、道、国と連携し、商工業資金利子補給事業やその他支援制度について、巡回、窓口相談により推進します。	鹿追町 鹿追町商工会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
商工会の巡回は毎月実施				途中経過確認				途中経過確認		実施状況聞き取り・検証	

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	商工会の総会議案で確認する。	事業者が抱える課題に対して、経営戦略や事業計画の提案を行い問題点の解決や新たな販売機会の創出や健全な売上増加、利益確保に向けて税務、金融支援や労働などについてきめ細かく対応するため、巡回指導、窓口相談を前年度と比較すると激減しているが、目標値の設定が変更になったため実施回数は前年度比101%のためAとした。

Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 （事業方針や内容など）	Doの変更点 （スケジュールなど）	Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）
商工業事業資金利子補給事業により町内事業者の安定的な資金調達等を支援し、国や道の補助金や支援策を商工会と共有し商工会員へ周知していく。	8月に途中経過確認を追加する	実績値の把握方法について、議案確認だけではなく、商工会への聞き取りによる状況確認を追加する。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	商工観光課 商工労政係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	町内企業への支援
	施策の概要	商工会による経営指導体制の強化や人材育成による経営管理能力の向上に向けて行政と関係団体との連携を図りつつ、各種融資制度や諸施策を充実させ、町内企業の経営の安定化、資金調達の円滑化により企業への支援を図ります。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	町内商工業事業者数 (商工会員数)(事業者)	169	165	158	158	町内商工業事業者数(商工会員数)
施策と指標の関連性	コロナ禍で変容した価値観やニーズ、原材料の高騰や物価高による取引価格の転嫁、事業者の高齢化などによる事業継続が厳しい中、事業者の経営、事業の発展を支援する施策などにより、会員数の維持を目標とし直接的な指標とした。					

評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	27,990	27,990	34,769	165	164	A	99%	・経営改善普及事業等補助事業 (経営改善普及事業、近代化推進活動事業など) ・事業資金利子補給事業
	2021	32,255	39,693	27,372	165	162	A	98%	・経営改善普及事業等補助事業 (経営改善普及事業、近代化推進活動事業など) ・事業資金利子補給事業
	2022	32,255	34,010	29,364	165	158	A	96%	・経営改善普及事業等補助事業 (経営改善普及事業、近代化推進活動事業など) ・事業資金利子補給事業
	2023	32,255	33,668	35,096	165	154	A	93%	・経営改善普及事業等補助事業 (経営改善普及事業、近代化推進活動事業など) ・事業資金利子補給事業
	2024	32,225	34,259	28,185	165	157	A	95%	・経営改善普及事業等補助事業 (経営改善普及事業、近代化推進活動事業など) ・事業資金利子補給事業
	2025	32,225	30,429	29,594	165	161	A	98%	・経営改善普及事業等補助事業 (経営改善普及事業、近代化推進活動事業など) ・事業資金利子補給事業
	2026	32,225	19,254		165				・経営改善普及事業等補助事業 (経営改善普及事業、近代化推進活動事業など) ・事業資金利子補給事業
	2027	32,225			158				・経営改善普及事業等補助事業 (経営改善普及事業、近代化推進活動事業など) ・事業資金利子補給事業
単位	千円	千円	千円	千円	事業者	事業者			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標												
具体的な方針			具体的な事業内容							実施体制			
町内企業の経営の安定、資金調達の円滑化等に取り組みます			・商工会による経営改善普及事業等補助事業、商工会一般事業、近代化推進活動事業への補助事業を実施することにより町内事業者への経営支援等を推進する ・商工業事業資金利子補給事業により町内事業者の安定的な資金調達等を支援することで経営の安定化を推進する							鹿追町 鹿追町商工会			
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
商工会各種補助				途中計画確認						利子補給実施	事業評価委員会		
Check	「Do」の結果・チェックなど												
結 果			評価参考基準			実績値の把握方法		ふりかえり総括 (結果(A～Z)の理由を記載)					
A			A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了			商工会の総会議案で確認する。		事業者が抱える課題に対して、経営戦略や事業計画の提案を行い問題点の解決や新たな販売機会の創出や健全な売上増加、利益確保に向けて税務や金融支援について、商工会指導員による、相談や指導を実施しています。また町の利子補給事業や町融資など、物価高騰で負担が増えている町内事業者に、継続して支援を行っているためAとした。					
Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など												
Plan の変更点 (事業方針や内容など)				Doの変更点 (スケジュールなど)				Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)					
商工業事業資金利子補給事業により町内事業者の安定的な資金調達等を支援し、国や道の補助金や支援策を商工会と共有し商工会員へ周知していく。				8月に途中経過確認を追加する				実績値の把握方法について、議案確認だけではなく、商工会への聞き取りによる状況確認を追加する。					

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	商工観光課 商工労政係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	町内企業への支援
	施策の概要	商工会による経営指導体制の強化や人材育成による経営管理能力の向上に向けて行政と関係団体との連携を図りつつ、各種融資制度や諸施策を充実させ、町内企業の経営の安定化、資金調達の円滑化により企業への支援を図ります。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	商工会員への経営相談・巡回指導件数（件/年）	617	630	629	630	経営相談・巡回指導件数
施策と指標の関連性	原材料の高騰や物価高騰による物価上昇などの情勢変化により事業者が受ける影響は多方面にわたる。事業者に寄り添ったきめ細やかな対策、対応が必要となるため、経営相談、巡回指導の件数を指標とした。					

評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	32,225	34,010	29,364	630	629	A	99%	・経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） ・事業資金利子補給事業
	2023	32,225	33,668	35,096	630	754	A	119%	・経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） ・事業資金利子補給事業
	2024	32,225	34,259	28,185	630	753	A	120%	・経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） ・事業資金利子補給事業
	2025	32,225	30,429	29,594	630	696	A	110%	・経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） ・事業資金利子補給事業
	2026	32,225	19,254		630				・経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） ・事業資金利子補給事業
	2027	32,225			630				・経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） ・事業資金利子補給事業
単位	千円	千円	千円	千円	件	件			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
町内企業の経営の安定、資金調達の円滑化等に取り組む	・商工会による経営改善普及事業、商工会一般事業、近代化推進活動等各事業への経営支援について、事業所の形態に合わせ、柔軟に対応するため、経営相談等を推進します。 ・町、道、国と連携し、商工業資金利子補給事業やその他支援制度について、巡回、窓口相談により推進します。	鹿追町 鹿追町商工会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
商工会の巡回は毎月実施				途中経過確認				途中経過確認		実施状況聞き取り・検証	

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	商工会の総会議案で確認する。	事業者が抱える課題に対して、経営戦略や事業計画の提案を行い問題点の解決や新たな販売機会の創出や健全な売上増加、利益確保に向けて税務、金融支援や労働などについてきめ細かく対応するため、巡回指導、窓口相談を前年度比110%増の696回実施したためAとした。

Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 （事業方針や内容など）	Doの変更点 （スケジュールなど）	Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）
町内企業の経営の安定、資金調達の円滑化、労働環境整備による人員確保等に取り組みます。	途中経過確認を8月と12月の2回確認に増やし、状況確認を速やかに行います。	実績値の把握方法について、議案確認以外に巡回指導シートや窓口相談シートの確認を追加

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係		商工観光課 観光係				
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト				
	施策	国立公園エリアの活用推進および誘客施策の展開				
	施策の概要	施設の老朽化等への対応、新たな機能の追加、町全体を観光資源と位置付け、エリア毎の課題を整理し包括的に進めます。新たな事業展開により、リピーター造成や滞在時間の延長化へと繋げ、来町のきっかけを提供する誘客事業を推進します。				
関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	観光客入込数 (うち外国人数) (人/年)	742,000 (4,007)	872,000 (7,000)	658,500 (3,713)	740,000 (3,400)	観光客入込数
施策と指標の関連性	国立公園エリア施設の活用、誘客事業の推進により、増加させる観光客入込数を指標とした。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	26,276	26,027	16,903	792,000 (5,000)	598,700 (6)	C	76%	・観光振興事業（観光協会補助事業） ・自然公園管理事業
	2021	24,523	26,630	25,900	822,000 (6,000)	590,200 (0)	C	72%	・観光振興事業（観光協会補助事業） ・自然公園管理事業
	2022	24,523	24,223	31,423	842,000 (6,500)	658,500 (3,713)	C	78%	・観光振興事業（観光協会補助事業） ・自然公園管理事業
	2023	24,523	30,005	37,339	872,000 (7,000)	659,400 (3,012)	C	76%	・観光振興事業（観光協会補助事業） ・自然公園管理事業
	2024	23,900	23,875	23,113	679,000 (3,100)	683,000 (3,010)	A	101%	・観光振興事業（観光協会補助事業） ・自然公園管理事業
	2025	23,900	24,266	29,668	699,000 (3,200)	674,000 (3,171)	A	96%	・観光振興事業（観光協会補助事業） ・自然公園管理事業
	2026	23,900	41,580		719,000 (3,300)				・観光振興事業（観光協会補助事業） ・自然公園管理事業
	2027	23,900			740,000 (3,400)				・観光振興事業（観光協会補助事業） ・自然公園管理事業
単位		千円	千円	千円	人	人			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標										
具体的な方針			具体的な事業内容							実施体制	
観光需要の変化に対応しつつ、交流人口の拡大、地域内消費の増加、ならびに持続可能な観光基盤の形成を図る。			夏の伝統イベント「白蛇姫まつり」や冬の北海道を代表するイベント「しかりべつ湖コタン」に加え、道の駅裏で開催する小規模イベント「てくてくマルシェ」を定期的に実施し、湖畔及び鹿追町内への観光客増加を目指す。							鹿追町 鹿追町観光協会	
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業計画	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施			イベント実施	イベント実施	検証
Check	「Do」の結果・チェックなど										
結果	評価参考基準				実績値の把握方法			ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）			
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				町内事業者・施設等からの報告される入込数の積み上げによる。			継続的なイベントの実施、SNS、パンフレット等を活用した切れ目の無いプロモーションが奏功し、目標に対して96%達成することができた。			
Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など										
Planの変更点 （事業方針や内容など）			Doの変更点 （スケジュールなど）					Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）			
イベントの継続・魅力化に加え、SNSを観光誘客の重要な情報発信ツールとして位置付け、発信力のさらなる強化を図ることで、町の認知度向上と誘客促進につなげる。			イベントの継続・魅力化と併せて、SNSを活用したプロモーションを強化し、イベントや観光コンテンツ等の情報を継続的・効果的に発信することで、町内への誘客促進につなげていく。					観光客の入込数を目標値・実績値とする。			

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

		担当課・係	商工観光課 観光係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト	
	施策	国立公園エリアの活用推進および誘客施策の展開	
	施策の概要	施設の老朽化等への対応、新たな機能の追加、町全体を観光資源と位置付け、エリア毎の課題を整理し包括的に進めます。新たな事業展開により、リピーター造成や滞在時間の延長化へと繋げ、来町のきっかけを提供する誘客事業を推進します。	

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	自然公園利用者数 (人/年)	45,282	90,000	81,518	82,000	自然公園利用者数
施策と指標の関連性	国立公園エリア施設の活用、誘客事業の推進により増加させる自然公園利用者数を指標とした。					

評価総括表					事業の点検			目標 達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	26,630	25,900	31,423	60,000	81,518	A	136%	・国立公園内事業等による自然公園利用者数の増加
	2023	24,223	30,005	37,339	90,000	75,566	A	84%	・国立公園内事業等による自然公園利用者数の増加
	2024	23,900	23,875	23,113	76,000	77,257	A	102%	・国立公園内事業等による自然公園利用者数の増加
	2025	23,900	24,266	29,668	78,000	104,407	A	134%	・国立公園内事業等による自然公園利用者数の増加
	2026	23,900	41,580		80,000				・国立公園内事業等による自然公園利用者数の増加
	2027	23,900			82,000				・国立公園内事業等による自然公園利用者数の増加
単位		千円	千円	千円	人	人			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan

関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
国立公園内だけでなく町内全域に誘客できるような事業の展開をしている	鹿追町観光協会等の関係団体と連携し、町内で集客につながる様々なイベント等事業を展開し、然別湖等国立公園への誘客を図るとともに、湖畔との往来中に町内飲食、物販等の消費行動へつなぐ機会を増加させる。	鹿追町 鹿追町観光協会

Do

「Plan」を実行するためのスケジュール・内容

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業計画	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	検証

Check

「Do」の結果・チェックなど

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	自然公園内キャンプ場・施設等からの報告される入込数の積み上げによる。	SNSや説明会でのプロモーションが奏功したことや、気候に恵まれ然別湖コタンの開催日数が確保できたことなどにより目標を達成することができた。

Action

Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など

Plan の変更点 （事業方針や内容など）	Do の変更点 （スケジュールなど）	Check の変更点 （チェックの体制・方法など）
SNSを活用したプロモーションを強化し、自然公園への効果的な誘客促進につなげる。	自然公園のアクティビティや魅力をSNSで継続的に発信し、効果的な誘客促進につなげる。	自然公園利用者数を目標値・実績値とする。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	商工観光課 観光係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	長期（長時間）滞在への誘導
	施策の概要	各種メディアによる媒体を活用して鹿追での滞在の魅力を提案する広告を行うとともに、SNSなどのコミュニケーションツールを活用して、本町に対して感情的なつながりを強めます。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	町内宿泊者数（人/年）	-	-	26,800	30,000	町内宿泊者数
施策と指標の関連性	長期滞在の基本となる宿泊者の増加が目標となることから直接的な宿泊者数を指標とした。					

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	-	-	-	-	-	-	-	-
2021	-	-	-	-	-	-	-	-
2022	-	-	-	-	-	-	-	-
2023	-	-	-	-	-	-	-	-
2024	600	600	622	27,000	23,900	B	89%	SNS等での情報発信
2025	600	600	837	28,000	22,900	B	82%	SNS等での情報発信
2026	600	1,110,000		29,000				SNS等での情報発信
2027	600			30,000				SNS等での情報発信
単位	千円	千円	千円	人	人			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的の方針	具体的な事業内容	実施体制
- 滞在型観光の魅力を訴求する広告展開 - SNSを活用した感情的なつながりの醸成	- Instagram・TikTok等での映像発信 - SNSフォトコンテスト開催	鹿追町 鹿追町観光協会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
年間プロモーション計画策定	SNSフォトコンテスト（春・夏編）開催	フォトコンテスト撮影期間	フォトコンテスト撮影期間	フォトコンテスト撮影期間	SNSフォトコンテスト（秋・冬編）開催	フォトコンテスト撮影期間	フォトコンテスト撮影期間	フォトコンテスト撮影期間	フォトコンテスト撮影期間	フォトコンテスト撮影期間	

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括（結果（A～Z）の理由を記載）
B	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	町内事業者・施設等からの報告される宿泊数の積み上げによる。	フォトコンテストの開催やイベントのランディングページ制作、主にSNSを活用したプロモーションにより長期滞在の促進を図った。目標値の8割を達成しており、B評価とした。

Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点（事業方針や内容など）	Doの変更点（スケジュールなど）	Checkの変更点（チェックの体制・方法など）
SNSを活用したプロモーションを強化し、町内の観光資源や宿泊の魅力の効果的に発信することで、長期・長時間滞在への誘導を図る。	フォトコンテストを「通年制」に変更し、対象となる観光スポット等を拡充することで、町内の周遊・滞在機会を増やす。また、SNSを活用したプロモーションを強化し、長期・長時間滞在を促進する	町内宿泊者数目標値・実績とする。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	商工観光課 観光係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	長期（長時間）滞在への誘導
	施策の概要	各種メディアによる媒体を活用して鹿追での滞在の魅力を提案する広告を行うとともに、SNSなどのコミュニケーションツールを活用して、本町に対して感情的なつながりを強めます。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	宿泊施設数（所）	-	-	10	12	宿泊施設数（所）
施策と指標の関連性	宿泊者の受け皿として多様な宿泊施設が必要であることから宿泊施設数を指標とした。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	10	600	622	10	10	Y	100%	宿泊ニーズや旅行動向に関する調査
	2025	10	600	837	10	10	Y	100%	宿泊ニーズや旅行動向に関する調査
	2026	11	1,110,000		11				宿泊ニーズや旅行動向に関する調査
	2027	12			12				宿泊施設数増に向けての施策の実施
単位		千円	千円	千円	所	所			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
地域資源を活用した魅力ある宿泊コンテンツの開発や、滞在ニーズに対応した受入環境の整備を図るとともに、効果的な情報発信や連携強化を通じて宿泊需要の創出を目指す。	町内宿泊者数の増加に向けて、宿泊ニーズや旅行動向に関する調査を実施し、今後の施策立案に向けた基礎資料を整備した。	鹿追町 鹿追町観光協会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
課題整理と調査方針の検討						他地域の先進事例の収集・整理			次年度施策に向けた方向性の検討と計画案の作成		

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）
Y	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	町内有料宿泊施設を把握する。	市街地における民間遊休施設を改修した宿泊施設化する相談があり、課横断的な対応を図ってきたが、年度内の増加には至っていないため、評価としては次年度以降の展開に向けた準備段階と位置付けた。

Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 （事業方針や内容など）	Doの変更点 （スケジュールなど）	Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）
宿泊施設の確保・拡充に向けた取組を進めるとともに、SNSを活用した情報発信を強化し、宿泊需要の喚起を図る。	宿泊施設の整備可能性を検討するとともに、SNSを活用し、宿泊施設や町の魅力を総合的・継続的に発信することで、宿泊需要の喚起・拡大を図る。	宿泊施設を目標値・実績とする。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

プロジェクトの概要	担当課・係	企画課企画係
	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	新たな再生可能エネルギーの有効活用
	施策の概要	自営線のネットワークを整備し、太陽光や地中熱などの新たな再生可能エネルギーの有効活用を図ります。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	自営線ネットワークに係る視察受入件数(件)	10	40 (前期累計)	27	120 (全体累計)	自営線ネットワークに係る視察を積極的に受け入れ、概要、効果等について正確に案内する。
施策と指標の関連性	自営線ネットワークの主たる目的のひとつに「他自治体等への波及（モデル）」を掲げており、視察を受け入れることで波及実績につながると考えたため。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	8,021	2,882	2,585	20	27	A	135%	自営線ネットワークに係る視察を受け入れ、関連施設の現場や構築経緯、効果や課題などについて正確に案内。
	2023	8,021	3,554	3,410	40	56	A	140%	自営線ネットワークに係る視察を受け入れ、関連施設の現場や構築経緯、効果や課題などについて正確に案内。
	2024	0	0	0	60	76	A	127%	自営線ネットワークに係る視察を受け入れ、関連施設の現場や構築経緯、効果や課題などについて正確に案内。
	2025	0	0	0	80	81	A	101%	自営線ネットワークに係る視察を受け入れ、関連施設の現場や構築経緯、効果や課題などについて正確に案内。
	2026	0	0		100				自営線ネットワークに係る視察を受け入れ、関連施設の現場や構築経緯、効果や課題などについて正確に案内。
	2027	0			120				自営線ネットワークに係る視察を受け入れ、関連施設の現場や構築経緯、効果や課題などについて正確に案内。
単位		千円	千円	千円	件	件			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標														
具体的な方針				具体的な事業内容						実施体制					
自営線ネットワークに関する視察を積極的に受け入れ、ニーズに応じて概要、効果、課題などのポイントを正確かつ分かりやすく案内する。				視察者のニーズに合わせ、デジタルサイネージ、西サイト、エネルギー棟をフィールドとしながら、自営線ネットワークの概要や効果、整備するにあたっての留意事項などについて適切に案内をする。						・企画課 ・自営線ネットワーク施設担当課					
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容														
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
適宜、視察受け入れ												→			
Check	「Do」の結果・チェックなど														
結果				評価参考基準			実績値の把握方法			ふりかえり総括（結果（A～Z）の理由を記載）					
A				A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了			視察記録			視察の依頼に対応し、脱炭素先行地域を目指す自治体や脱炭素に取り組む企業などに対して、効果や課題について正確に案内を行った。					
Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など														
Plan の変更点（事業方針や内容など）				Doの変更点（スケジュールなど）				Checkの変更点（チェックの体制・方法など）							
視察者が確認したい内容がより具体的となってきたことを踏まえ、情報や資料の更新を欠かさず行い、引き続き丁寧かつきめ細やかに対応していく。				引き続き、年間を通じてできる限り柔軟に対応していく。				引き続き、視察の記録を進めるとともに、ニーズを把握しながら適切に対応していく。							

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

プロジェクトの概要	担当課・係	企画課企画係
	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	新たな再生可能エネルギーの有効活用
	施策の概要	白営線のネットワークを整備し、太陽光や地中熱などの新たな再生可能エネルギーの有効活用を図ります。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	再生可能エネルギーの有効活用及び適切な運用によるCO2年間排出削減量 (t/年)	-	363	251	363	再生可能エネルギーの有効活用及び適切な運用によるCO2年間排出削減量
施策と指標の関連性	再生可能エネルギーの有効活用の主たる理由がCO2削減（地球温暖化対策）のため。					

評価総括表					事業の点検			目標 達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	201,233	200,452	198,005	121	107	A	88%	自営線ネットワーク整備事業完工 本格運用12月頃～
	2021	8,021	7,111	6,690	363	303	A	83%	性能が最大限発揮されるよう適切な 運用を行いつつ、新たな再生可能 エネルギーを模索
	2022	8,021	2,882	2,585	363	251	B	69%	性能が最大限発揮されるよう適切な 運用を行いつつ、新たな再生可能 エネルギーを模索
	2023	8,021	3,554	3,410	363	203	C	56%	性能が最大限発揮されるよう適切な 運用を行いつつ、新たな再生可能 エネルギーを模索
	2024	3,500	2,907	2,977	363	365	A	101%	性能が最大限発揮されるよう保安 と維持管理を適切に実施
	2025	3,500	3,369	3,368	363	349	A	96%	性能が最大限発揮されるよう保安 と維持管理を適切に実施
	2026	3,500	4,876		363				性能が最大限発揮されるよう保安 と維持管理を適切に実施
	2027	3,500			363				性能が最大限発揮されるよう保安 と維持管理を適切に実施
単位		千円	千円	千円	t	t			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標													
具体的な方針				具体的な事業内容						実施体制				
自営線ネットワークの適切な運用管理				・電気主任技術者による毎日の点検、月次点検、法定年次点検を実施し、適切な運用管理を徹底する。 ・CEMSから得られる情報を元に省エネルギーを推進。						・企画課 ・自営線ネットワーク施設担当課				
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容													
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
適正な運用・管理														
												→		
Check	「Do」の結果・チェックなど													
結 果				評価参考基準				実績値の把握方法			ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）			
A				A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				CEMS帳票により自動算出（帳票出力）			電気主任技術者による毎日の点検などを徹底し、未然に事故を防止することにより性能の最大化を図った。			
Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など													
Plan の変更点 （事業方針や内容など）				Doの変更点 （スケジュールなど）				Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）						
整備から5年が経過しており、従来以上に各種機器の経年劣化に注意を払いながら、日々の点検業務を着実に実施する。				継続的な点検を実施し、運用管理の徹底を図るとともに、CEMSから得られるデータを活用して省エネルギーを推進する。				電気保安業務に関する日報、月次点検及び年次点検の報告書を引き続き確認し、CEMS帳票などから得られるデータを活用して効果を算出する。						

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

プロジェクトの概要	担当課・係	企画課 企画係 建設水道課 建築係
	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	活かされる、空き家など対策計画の策定検討
	施策の概要	住宅施策や廃屋の解体制度、空き家・空き地バンク制度など既存の施策を推進しつつ、総合的な空き家対策や中古住宅施策を検討します。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	定住促進住宅奨励制度による中古住宅購入者(件/年)	-	-	4	3	定住促進住宅奨励制度による中古住宅購入者(件/年)
施策と指標の関連性	中古住宅取得者数を把握可能な数値のため。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	6,094	6,094	9,258	3	8	A	267%	・空き家データベースの作成 ・空家対策会議の開催 ・次年度に向けた空き家対策及び中古住宅施策の検討
	2025	8,100	9,598	11,259	3	8	A	267%	・空き家データベースを踏まえた対策の検討 ・新たな空き家対策及び中古住宅施策の検討
	2026	8,100	9,900		3				・新たな空き家対策及び中古住宅施策の実施
	2027	1,500			3				・新たな空き家対策及び中古住宅施策の実施
単位		千円	千円	千円	件	件			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標													
具体的な方針				具体的な事業内容						実施体制				
総合的な空き家対策の推進				・空家データベースをもとにした、所有者アンケート等で所有者にアプローチの実施 ・定期的な総合的な空家対策会議の開催 ・住生活基本計画策定に向けた会議への出席と、計画策定と連動した空家対策に係る支援支援制度の検討						総合的な空家対策会議 地域活性化起業人				
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容													
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
空き家相談会		空き家相談会		空き家相談会	空き家セミナー・空き家相談会	空き家セミナー・空き家相談会	空き家になる前の相談セミナー・空き家相談会	空き家セミナー・空き家相談会	空家対策会議・空き家相談会	空き家相談会	空き家相談会			
Check	「Do」の結果・チェックなど													
結果				評価参考基準			実績値の把握方法		ふりかえり総括 (結果(A～Z)の理由を記載)					
A				A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了			台帳で整理		町が総合的な空家対策に取り組んでいることを広報誌や新聞記事等で周知を行ったことや、中古住宅取得の助成制度の拡充の継続により中古住宅の流通促進につながったと思われる。					
Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など													
Plan の変更点 (事業方針や内容など)					Doの変更点 (スケジュールなど)				Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)					
引き続き空家対策に係る支援制度について検討を図りたい。					これまで通り空き家対策を実施する。				チェック体制・方法についてはこれまでどおり実施する。					

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	企画課 企画係 建設水道課 建築係
-------	----------------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	活かされる、空き家など対策計画の策定検討
	施策の概要	住宅施策や廃屋の解体制度、空き家・空き地バンク制度など既存の施策を推進しつつ、総合的な空き家対策や中古住宅施策を検討します。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	新規空き家バンク登録住宅件数(件/年)	-	-	0	3	新規空き家バンク登録住宅件数(件/年)
施策と指標の関連性	把握が可能な空き家対策事業の直接的な成果となる指標のため					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	6,094	6,094	9,258	0	3	A	100%	・空き家データベースの作成 ・空家対策会議の開催 ・次年度に向けた空き家対策及び中古住宅施策の検討
	2025	8,100	9,598	11,259	1	3	A	300%	・空き家データベースを踏まえた対策の検討 ・新たな空き家対策及び中古住宅施策の検討
	2026	8,100	9,900		2				・新たな空き家対策及び中古住宅施策の実施
	2027	1,500			3				・新たな空き家対策及び中古住宅施策の実施
単位		千円	千円	千円	件	件			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標											
具体的な方針		具体的な事業内容							実施体制			
総合的な空き家対策の推進		・空家データベースをもとにした、所有者アンケート等で所有者にアプローチの実施 ・定期的な総合的な空家対策会議の開催 ・住生活基本計画策定に向けた会議への出席と、計画策定と連動した空家対策に係る支援支援制度の検討							総合的な空家対策会議 地域活性化起業人			
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
空家家相談会		空家家相談会		空家家相談会	空家家セミナー・空家家相談会	空家家セミナー・空家家相談会	空家家になる前の相談セミナー・空家家相談会	空家家セミナー・空家家相談会	空家対策会議・空家家相談会	空家家相談会	空家家相談会	
Check		「Do」の結果・チェックなど										
結果		評価参考基準			実績値の把握方法			ふりかえり総括（結果（A～Z）の理由を記載）				
A		A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了			台帳で整理			町が総合的な空家対策に取り組んでいることを広報誌等で周知を行ったことや、空家家相談会の実施、令和6年度に中古住宅取得の助成制度の拡充を行ったことで、空き家バンク登録につながったと思われる。				
Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など											
Plan の変更点（事業方針や内容など）				Doの変更点（スケジュールなど）				Checkの変更点（チェックの体制・方法など）				
引き続き空家対策に係る支援制度について検討を図りたい。				これまで通り空家対策を実施する。				チェック体制・方法についてはこれまでどおり実施する。				

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

プロジェクトの概要	担当課・係	企画課企画係
	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	情報格差対策
	施策の概要	町としてデジタルを活用したサービスの提供を進めていく計画だが、デジタルサービスの利用ができず置き去りにされてしまう人を少しでも減らし、利用できる人とできない人の間に生じる差（情報格差）を解消する。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	スマホ教室の開催数 (回)	5	20 (前期累計)	7	60 (全体累計)	事業者と連携した「スマホよろず相談会（教室）」の開催回数
施策と指標の関連性	スマホ教室は、主に高齢者を対象としており、「スマホを持っていない」「スマホの使い方がわからない」方に対して開催している。継続して安定的に同教室を開催することで、情報格差の是正に資すると考えたため。					

評価総括表					事業の点検			目標 達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	0	0	0	10	7	B	70%	高齢者を中心とした地域住民へのスマホ等の活用支援（無償）として、「スマホよろず相談（教室）」を開催
	2023	0	19	18	20	19	A	95%	高齢者を中心とした地域住民へのスマホ等の活用支援（無償）として、「スマホよろず相談（教室）」を開催
	2024	0	0	0	30	27	A	90%	高齢者を中心とした地域住民へのスマホ等の活用支援（無償）として、「スマホよろず相談（教室）」を開催
	2025	0	0	0	40	35	A	88%	高齢者を中心とした地域住民へのスマホ等の活用支援（無償）として、「スマホよろず相談（教室）」を開催
	2026	0	0		50				高齢者を中心とした地域住民へのスマホ等の活用支援（無償）として、「スマホよろず相談（教室）」を開催
	2027	0			60				高齢者を中心とした地域住民へのスマホ等の活用支援（無償）として、「スマホよろず相談（教室）」を開催
単位		千円	千円	千円	回	回			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan

関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標

具体的な方針

具体的な事業内容

実施体制

地域住民の情報格差の解消

スマホ相談窓口を常設し、利用者が必要ときに相談できる環境を整備することで、個々のニーズに適切に対応する。

・企画課
・事業者

Do

「Plan」を実行するためのスケジュール・内容

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

スマホ相談
窓口を常設
し、個別の
相談に対応

→

Check

「Do」の結果・チェックなど

結 果

評価参考基準

実績値の把握方法

ふりかえり総括
（結果（A～Z）の理由を記載）

A

A:目標の8割以上
B:目標の6割以上
C:目標の4割以上
D:目標の2割以上
E:効果なし
X:実施年度ではない
Y:次年度以降実施
Z:昨年度までに事業完了

事業実績

老人会や行政区を訪問し、スマホ教室の開催や、ゼロカーボンに関する取り組みの説明を行った。

Action

Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など

Plan の変更点
（事業方針や内容など）

Doの変更点
（スケジュールなど）

Checkの変更点
（チェックの体制・方法など）

引き続き、情報格差の解消に向けて啓発活動に取り組む。

引き続き、関係各所と連携し、年間を通して普及活動に取り組む。

実績を記録し、ニーズに合わせて対応をしていく。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	企画課企画係
-------	--------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	情報格差対策
	施策の概要	町としてデジタルを活用したサービスの提供を進めていく計画だが、デジタルサービスの利用ができず置き去りにされてしまう人を少しでも減らし、利用できる人とできない人の間に生じる差（情報格差）を解消する。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	老人会などの各種会議体での啓発数（回）	-	-	11	52 (後期累計)	職員が出向き、情報格差対策に資する情報を啓発する数。
施策と指標の関連性	情報格差対策の啓発として、老人会や行政区会議などに出向き、町全域に整備された光回線の利用やスマホ教室の参加、mishikaなどの利用促進を図っている。継続して安定的に啓発をしていくことで、情報格差の是正に資すると考えたため。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	0	0	0	13	12	A	92%	高齢者を中心とした地域住民の会議や集会等に職員が出向き、情報格差対策に資する情報を発信する。
	2025	0	0	0	26	25	A	96%	高齢者を中心とした地域住民の会議や集会等に職員が出向き、情報格差対策に資する情報を発信する。
	2026	0	0		39				高齢者を中心とした地域住民の会議や集会等に職員が出向き、情報格差対策に資する情報を発信する。
	2027	0			52				高齢者を中心とした地域住民の会議や集会等に職員が出向き、情報格差対策に資する情報を発信する。
単位		千円	千円	千円	回	回			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標															
具体的な方針			具体的な事業内容							実施体制						
地域住民の情報格差の解消			老人会や行政区に出向き、スマホ相談窓口や町公式アプリの利用等を促進し、情報格差の解消に取り組む。							・企画課 ・保健福祉課 ・老人会など						
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容															
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
適宜、老人会等に出向き説明												→				
Check	「Do」の結果・チェックなど															
結 果		評価参考基準				実績値の把握方法			ふりかえり総括（結果（A～Z）の理由を記載）							
A		A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				参加実績			老人会や行政区を訪問し、スマホ教室の開催や、ゼロカーボンに関する取り組み、タクシー料金の助成制度などについて説明を行った。							
Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など															
Plan の変更点（事業方針や内容など）				Doの変更点（スケジュールなど）				Checkの変更点（チェックの体制・方法など）								
引き続き、情報格差の解消に向けて啓発活動に取り組む。				引き続き、関係各所と連携し、年間を通して普及活動に取り組む。				実績を記録し、ニーズに合わせて対応をしていく。								

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	総務課 総務係 企画課企画係
-------	-------------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	デジタルツールの導入
	施策の概要	デジタル技術を活用し、本町の目指す姿を実現するため「利用者のニーズに合ったサービス」「デジタルによる地域活性化」「行政運営の効率化・生産性の向上」の3つの視点を視野に入れ、業務の効率化を図り、行政サービスの質の維持・発展を目指す。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	業務効率化のためのデジタルツール導入数 (種)	-	-	1	3 (累計)	業務効率化・生産性の向上に資するデジタルツールの導入数
施策と指標の関連性	デジタルツール導入の主たる目的は業務効率化であり、検討に当たっては、有識者であるデジタル人材を中心に全課の課題を洗い出した上で費用対効果の高いデジタルツールの導入について合意形成（理事者）を図っている。提案のあったデジタルツールを着実に導入することで、業務効率化に資すると考えたため。					

評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	3,315	3,315	2,781	2	2	A	100%	議事録作成システムの導入
	2025	0	713	642	2	3	A	150%	電子契約システムの導入、ペーパーレスに係るシステムの導入検討
	2026	10,000	0		3				生成AIサービスやその他業務効率化・生産性の向上に資するツールの導入検討
	2027	0			3				その他業務効率化・生産性の向上に資するデジタルツールの導入検討
単位		千円	千円	千円	種	種			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan		関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標										
具体的な方針			具体的な事業内容							実施体制		
電子契約システムの導入、ペーパーレスに係るシステムの導入検討			従来の紙による契約事務について、迅速な契約行為の実現と、発注者・受注者双方にとって利便性が高い電磁契約システムを導入する。併せてその他のペーパーレスに係るシステムの導入検討も実施していく。							総務課 鹿追町DX推進本部 (ペーパーレス会議システムワーキンググループ)		
Do		「Plan」を実行するためのスケジュール・内容										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
導入に向けた検討	導入に向けた検討	導入に向けた検討	導入契約	システムの構築	システムの構築	システムの構築	システムの構築	システムの構築	システム運用・利用促進	システム運用・利用促進	システム運用・利用促進	
Check		「Do」の結果・チェックなど										
結 果		評価参考基準			実績値の把握方法			ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)				
A		A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了			導入実績 ①コミュニケーション円滑化 (logoチャット) …導入済み ②議事録作成システム ③庶務管理システム			電子契約システムについて、年度当初からシステム検討を実施。7月～12月の入札・導入準備を経て、令和8年1月より運用を開始した。				
Action		Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など										
Plan の変更点 (事業方針や内容など)				Do の変更点 (スケジュールなど)				Check の変更点 (チェックの体制・方法など)				
特に大きな変更点はなく、電子契約システムを年度内に導入・運用開始した。				スケジュールについても、当初の予定通りに契約・導入準備し、令和8年1月より運用を開始した。				導入方法等も当初の想定通り、年度内に滞りなく契約・構築・導入まで完了した。				

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	総務課 総務係 企画課企画係
-------	-------------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	デジタルツールの導入
	施策の概要	デジタル技術を活用し、本町の目指す姿を実現するため「利用者のニーズに合ったサービス」「デジタルによる地域活性化」「行政運営の効率化・生産性の向上」の3つの視点を視野に入れ、業務の効率化を図り、行政サービスの質の維持・発展を目指す。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	公共サービス向上のためのデジタルツール導入数（種）	-	-	3	8 （累計）	行政サービスの質向上に資するデジタルツールの導入数
施策と指標の関連性	デジタルツール導入の目的のひとつとして、公共サービスの向上を掲げており、検討に当たっては、有識者であるデジタル人材を中心に費用対効果の高いデジタルツールの導入について合意形成（理事者）を図っている。提案のあったデジタルツールを着実に導入することで、公共サービスの向上に資すると考えたため。					

評価 総括表					事業の点検			目標 達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	9,449	9,449	9,449	7	7	A	100%	・LINE情報発信ツール ・電子申請 ・施設予約 ・書かない窓口 の導入
	2025	0	11,449	11,007	7	8	A	114%	図書館システムの導入
	2026	10,000	9,560		8				コンビニ交付システムの導入
	2027	0			8				その他行政サービスの質向上に 資するデジタルツールの導入検 討
単位		千円	千円	千円	種	種			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan		関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標										
具体的な方針			具体的な事業内容							実施体制		
図書館システム の導入			町立図書館にて現在は館内で予約対応している蔵書について、住民がオンラインで検索・予約が行える図書管理システムを導入する。また、LINEとの連携により更なる住民サービス向上を目指す							総務課 社会教育課 鹿追町DX推進本部		
Do		「Plan」を実行するためのスケジュール・内容										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
導入に向けた検討	導入に向けた検討	導入に向けた検討	導入に向けた検討	導入契約	システムの構築	システムの構築	システムの構築	システムの構築	システムの構築	システム運用・利用促進	システム運用・利用促進	
Check		「Do」の結果・チェックなど										
結 果		評価参考基準				実績値の把握方法			ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）			
A		A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				導入実績 ①キャッシュレス端末（2カ所）、②行政手続きのオンライン化（34手続き）、③情報発信アプリ（mishika、LINE）…導入済み ④CMS（ホームページ）、⑤LINE情報発信ツール、⑥電子申請、⑦施設予約、⑧書かない窓口			図書館システムについて、年度当初からのシステム検討を実施。9月～翌1月のプロボ・構築準備を経て、令和8年2月より運用を開始した。			
Action		Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など										
Plan の変更点 （事業方針や内容など）				Doの変更点 （スケジュールなど）				Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）				
特に大きな変更点は無く、図書館システムを年度内に導入・運用開始した。				スケジュールについても、当初の予定通り、9月1日で契約・構築開始、令和8年2月より運用を開始した。				導入方法等も当初の想定通り、年度内に滞りなく契約・構築・導入まで完了した。				

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	瓜幕支所 地域振興係 自然体験留学担当
-------	---------------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	自然体験留学制度の充実
	施策の概要	他地域からの児童や生徒を受け入れることで、異なる考え方や文化を学びより多様な人間関係を築くことで他者への理解を促進する教育を進めます。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	留学制度による親子留学者数（人/年）	5	10	11	10	留学制度による親子留学者数（児童・生徒の数）
施策と指標の関連性	他者への理解を促進する教育のために受け入れている他地域からの児童や生徒の数を指標とした。					

評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	17,000	16,957	16,274	5	8	B	160%	地域での受け入れ可能数の現況調査
	2021	17,000	16,896	15,696	5	13	B	260%	留学制度再設計の検討
	2022	17,000	16,753	15,201	10	11	A	110%	留学制度受け入れ体制（居住環境整備）の構築
	2023	17,000	15,655	15,100	10	8	A	80%	留学制度受入れ体制の充実
	2024	17,000	16,000	14,770	10	7	A	70%	留学制度受入れ体制の充実
	2025	17,000	19,380	12,922	10	10	A	100%	留学制度受入れ体制の充実
	2026	17,000	17,146		10				留学制度受入れ体制の充実
	2027	17,000			10				留学制度受入れ体制の充実
単位		千円	千円	千円	人	人			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標														
具体的な方針			具体的な事業内容							実施体制					
今後の留学制度について、現状を踏まえての制度の再設計			・地域での受け入れ可能数の現況調査 ・地域と学校への留学制度の理解を促す							・瓜幕自然体験留学制度推進連絡協議会 ・教育委員会 ・町長及び副町長 ・瓜幕支所 ・企画課（移住） ・建設水道課（公住）					
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容														
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
			現況調査												
			→												
Check	「Do」の結果・チェックなど														
結 果		評価参考基準			実績値の把握方法			ふりかえり総括（結果（A～Z）の理由を記載）							
A		A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了			留学者受入実績			新たに留学に来た親子も地域になじみ、継続して留学を続ける方も多くいる。							
Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など														
Plan の変更点（事業方針や内容など）				Doの変更点（スケジュールなど）				Checkの変更点（チェックの体制・方法など）							
親子留学の専用住宅や公営住宅の空き状況などを把握しながら、受入れも検討していくようにする。				必要そうな家具や家電を一時的に預かり、必要に応じて貸し出しするなどした。				新たに入居する方なるべく早めに把握して、スムーズな入居を対処していきたい。							

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	瓜幕支所 地域振興係 自然体験留学担当
-------	---------------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	自然体験留学制度の充実
	施策の概要	他地域からの児童や生徒を受け入れることで、異なる考え方や文化を学びより多様な人間関係を築くことで他者への理解を促進する教育を進めます。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	留連協事業部による各種自然体験事業数(事業/年)	6	7	7	7	留連協事業部による各種自然体験
施策と指標の関連性	交流や地域の活性化を目指し留連協事業部が実施する、地域の子どもや大人も含めた魅力的な自然体験事業の事業数を指標とした。					

	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
評価総括表	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	17,000	16,753	15,201	7	7	A	100%	・山菜採取体験・サマーキャンプinうりまく・ナイトクルーズ・熱気球体験・搾乳体験・冬の活動・中学校スキー体験
	2023	17,000	15,655	15,100	7	7	A	100%	・山菜採取体験・サマーキャンプinうりまく・ナイトクルーズ・熱気球体験・搾乳体験・冬の活動・中学校スキー体験
	2024	17,000	16,000	14,770	7	7	A	100%	・山菜採取体験・サマーキャンプinうりまく・ナイトクルーズ・熱気球体験・搾乳体験・冬の活動・中学校スキー体験
	2025	17,000	19,380	12,922	7	7	A	100%	・山菜採取体験・サマーキャンプinうりまく・星座観察・熱気球体験・農業体験・冬の活動・中学校スキー体験
	2026	17,000	17,146		7				・山菜採取体験・サマーキャンプinうりまく・ナイトクルーズ・熱気球体験・搾乳体験・冬の活動・中学校スキー体験
	2027	17,000			7				・山菜採取体験・サマーキャンプinうりまく・ナイトクルーズ・熱気球体験・搾乳体験・冬の活動・中学校スキー体験
	単位	千円	千円	千円	事業	事業			

2025 (R7) 年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標										
具体的な方針			具体的な事業内容						実施体制		
留学生にとっても地元の子にとっても魅力的な事業を計画・検討・実施していく			1 山菜採集体験 2 サマーキャンプinうりまく 3 星座観察体験 4 農業体験 5 熱気球体験 6 冬の体験活動 7 スキー・スノーボード体験						瓜幕自然体験留学制度推進連絡協議会 事業部		
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検討	実施（山菜）	検討	検討・実施（サマキャン）	検討	検討・実施（星座）	検討・実施（農業・熱気球）		検討	検討	実施（冬の体験）	実施（スキー）
Check	「Do」の結果・チェックなど										
結 果		評価参考基準				実績値の把握方法		ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）			
A		A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				自然体験事業数と内容		地域、留連協役員、学校、町の協力のおかげで、目標を達成できた。			
Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など										
Plan の変更点 （事業方針や内容など）			Doの変更点 （スケジュールなど）				Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）				
今までの星座体験は然別湖にてナイトクルーズと共に実施していたが、今年は遊覧船が使用できないこともあり、講師による星座観察をじっくり取り組むように変更した。			サマーキャンプでは天候不順の関係で、当日の計画を急遽変更してレクリエーションを入れたりして、充実したキャンプを行うことができた。				どの計画も、天候等の影響により変更した場合に、安全に、そして事前の準備をしっかりとて事業を取り組めるようにする。				

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	総務課 財政係 行財政改革担当
-------	-----------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	行財政改革の推進
	施策の概要	持続可能な行財政基盤の確立の為、行財政改革推進本部及び審議会を立ち上げ、補助事業や使用料の見直し・組織機構改革に着手する。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	行財政改革の執行による経常的経費の削減効果額（千円）	-	△500,000 (前期累計)	△322,867 (累計)	△500,000 (前後期累計)	行財政改革の執行による経常的経費の削減効果額
施策と指標の関連性	行財政改革の推進として一番大きな重点項目として、経費の削減効果額とした。					

	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
評価総括表	2020	705	705	0	0	△ 91,499	A		・行財政改革推進審議会委員報酬など
	2021	0	670	539	△ 300,000	△ 172,113	B	57%	・行財政改革推進審議会からの答申を受けて段階的に行財政改革を執行
	2022	0	0	0	△ 400,000	△ 322,867	A	81%	・行財政改革推進審議会からの答申を受けて段階的に行財政改革を執行
	2023	0	0	0	△ 500,000	△ 392,592	B	79%	・行財政改革推進審議会からの答申を受けて段階的に行財政改革を執行
	2024	0	0	0	△ 500,000	△ 434,318	A	87%	・目標値（削減額）は事務局による金額、段階的に行財政改革を執行
	2025	0	0	0	△ 500,000	△ 434,318	Y	—	行財政改革推進本部会議未開催
	2026	0	0		△ 500,000				・目標値（削減額）は行財政改革推進本部会議で正式決定し、段階的に行財政改革を執行
	2027	0			△ 500,000				・目標値（削減額）は行財政改革推進本部会議で正式決定し、段階的に行財政改革を執行
単位		千円	千円	千円	千円	千円			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標											
具体的な方針		具体的な事業内容								実施体制		
・2020年度以降の行財政改革の執行に向けて、各種会議体を設置し、財政状況の共有や見直し、役場組織の改革について協議を進める。		・行財政改革推進本部の継続 ・職員によるプロジェクトチームを発足 ・行財政改革大綱の見直し								・町長、副町長 ・各所属長 ・総務課（行革事務局、機構改革事務局） ・町民（団体の代表者、有識者など）		
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
					推進本部					推進本部		
Check	「Do」の結果・チェックなど											
結 果	評価参考基準				実績値の把握方法			ふりかえり総括（結果（A～Z）の理由を記載）				
Y	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				目標で掲げた各種項目の実績数値を抽出			行財政改革推進本部を未開催のため数値の決定ができていない。次年度に2か年分の実績数値を決定したい				
Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など											
Plan の変更点（事業方針や内容など）				Doの変更点（スケジュールなど）				Checkの変更点（チェックの体制・方法など）				
2021年度行財政改革推進審議会を設置し、行財政改革大綱が制定され、大綱が進行中のため変更点はない。				行財政改革大綱が進行中のため、変更なし。				行財政改革大綱が進行中のため、変更なし。				

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	総務課 財政係 行財政改革担当
-------	-----------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	行財政改革の推進
	施策の概要	持続可能な行財政基盤の確立の為、行財政改革推進本部及び審議会を立ち上げ、補助事業や使用料の見直し・組織機構改革に着手する。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	企業版ふるさと納税 寄附額（千円）	0	50,000 (前期累計)	4,600	50,000 (後期累計)	企業版ふるさと納税の寄附額
施策と指標の関連性	行財政改革の推進により増加させる新たな財源である寄附額を指標とした。					

評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標 達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	0	0	0	20,000	6,100	C	31%	企業版ふるさと納税の募集活動を実施
	2023	0	0	0	50,000	10,800	D	22%	企業版ふるさと納税の募集活動を実施
	2024	0	0	0	20,000	7,700	D	39%	・実績と別に物納1件（500千円相当） ・企業版ふるさと納税の募集活動を実施
	2025	0	0	0	30,000	3,988	D	13%	企業版ふるさと納税の募集活動を実施 （制度は令和9年度まで延長）
	2026	0	0		40,000				企業版ふるさと納税の募集活動を実施 （制度は令和9年度まで延長）
	2027	0			50,000				企業版ふるさと納税の募集活動を実施 （制度は令和9年度まで延長）
単位		千円	千円	千円	千円	千円			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標											
具体的な方針		具体的な事業内容								実施体制		
・事業に取り組むための資金を得るため、新たな企業から寄附を受ける。 ・企業との繋がりを広げ、今後連携した取組を行う見込みを得る。		・企業へのアプローチ、事業の周知（マッチング会の参加、マッチングサイトへの登録）								全課		
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
随時 マッチング会参加											→	
Check	「Do」の結果・チェックなど											
結 果	評価参考基準				実績値の把握方法				ふりかえり総括（結果（A～Z）の理由を記載）			
D	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				決算額を抽出				北海道応援セミナー（大阪・東京）へ町長および担当職員等が参加し、北海道との連携企業へ鹿追町の魅力をPRを実施したが、寄附額増加にはつながらなかった。			
Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など											
Plan の変更点（事業方針や内容など）				Doの変更点（スケジュールなど）				Checkの変更点（チェックの体制・方法など）				
企業との繋がりを重視し、現在取り組んでいる本町の特徴的な取組を通じて、また個人版ふるさと納税との連携による相乗効果を目指し、所管を商工観光課へ移管した。				北海道応援セミナー等のマッチング会へ継続的に参加するとともに、これまで繋がりの無い企業へDM等による町PRに努める。				新たな企業と繋がりがでないか全課と模索していく。				

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

	担当課・係	商工観光課 観光係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力最大化」プロジェクト
	施策	道の駅しかおいを核とする観光拠点づくり
	施策の概要	観光客等との交流の拠点施設である道の駅しかおい芝生広場において、キッチンカーやイベントテントなどが一堂に集うイベントを開催します。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	道の駅しかおい入込客数(人/年)	-	-	140,600	165,400	観光客入込客数
施策と指標の関連性	道の駅しかおいの誘客数を直接的に把握できる入込数を指標とした。					

	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
評価総括表	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	60	60	96	152,000	155,500	A	102%	誘客イベント実施による道の駅への入込数増加
	2025	60	60	60	156,000	150,200	A	96%	誘客イベント実施による道の駅への入込数増加
	2026	60	174		160,600				誘客イベント等による道の駅への入込数増加
	2027	60			165,400				誘客イベント等による道の駅への入込数増加
単位		千円	千円	千円	人	人			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標													
具体的な方針			具体的な事業内容							実施体制				
観光協会と連携した道の駅誘客事業に取り組みます。			道の駅しかおい芝生広場において、キッチンカーやイベントテントにて町内外から集客できるイベントをを複数回開催します。							鹿追町 鹿追町観光協会 道の駅しかおい				
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容													
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施								
Check	「Do」の結果・チェックなど													
結 果		評価参考基準			実績値の把握方法			ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)						
A		A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了			道の駅レジ通過数をもとに入込数を算出			イベントの開催を通じて来訪者の関心を喚起し、道の駅しかおいへの誘客を図った結果、入込数は目標値に対して96%であったことから、評価をAとする。						
Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など													
Plan の変更点 (事業方針や内容など)				Doの変更点 (スケジュールなど)				Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)						
イベント開催を継続するとともに、SNSを活用したプロモーションを強化し、効果的な誘客促進を図る。				SNSを活用し、イベント情報や道の駅の魅力を継続的・効果的に発信する。				道の駅しかおい入込客数を目標値・実績とする。						

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

	担当課・係	商工観光課 観光係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力最大化」プロジェクト
	施策	道の駅しかおいを核とする観光拠点づくり
	施策の概要	観光客等との交流の拠点施設である道の駅しかおい芝生広場において、キッチンカーやイベントテントなどが一堂に集うイベントを開催します。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	道の駅しかおいエリアでのイベント数(回)	-	-	0	12	イベントの実施回数
施策と指標の関連性	道の駅しかおいへの誘客を目的とする直売会やキッチンカーイベントなどの小規模イベントの実施数を指標とした。					

	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
評価総括表	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	60	60	96	12	11	A	92%	観光協会補助事業による連携イベントの実施
	2025	60	60	60	12	12	A	100%	観光協会補助事業による連携イベントの実施
	2026	60	174		12				観光協会補助事業による連携イベントの実施
	2027	60			12				観光協会補助事業による連携イベントの実施
	単位	千円	千円	千円	回	回			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標	
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
観光協会と連携した道の駅誘客事業に取り組みます。	道の駅しかおい芝生広場において、キッチンカーやイベントテントにて町内外から集客できるイベントをを複数回開催します。	鹿追町 鹿追町観光協会 道の駅しかおい

Do		「Plan」を実行するためのスケジュール・内容									
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施					

Check	「Do」の結果・チェックなど		
結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	道の駅しかおい直売会、鹿追町観光協会などイベント主催者への確認による。	イベントの開催を通じて来訪者の関心を喚起し、道の駅しかおいへの誘客を図った。実施回数が目標を達成したことから評価をAとした。

Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など	
Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
継続している「しかおいてくくマルシェ」に加え、アイドルマスターマンホールプロジェクト「ふたマス!!!!!!」を活用したイベントを実施し、道の駅しかおいへの誘客を促進する。	「しかおいてくくマルシェ」の月2回開催を継続するとともに、アイドルマスターマンホールプロジェクト「ふたマス!!!!!!」お披露目式を実施する。	イベントの実施回数を目標値・実績とする。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	ジオパーク推進課 推進係
-------	--------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力最大化」プロジェクト
	施策	ジオパークの地域住民への浸透
	施策の概要	とちかち鹿追ジオパークは、持続可能な地域の実現を目標に、保全・教育・ツーリズムの各分野で活動を推進している。これらの活動は地域住民が主体となって進めることが重要であり、そのための普及啓発と協力を進めていく。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	とちかち鹿追ジオパーク ビジターセンター来館 者数（人/年）	3,000	3,300	3,139	3,500	とちかち鹿追ジオパークビジター センター来館者数
施策と指標の関連性	指標との関連性は、町内外において、とちかち鹿追ジオパークの認知浸透度を図る上での1つの目安となっている。また、多岐に渡るジオパーク活動事業を実施しており、指標以外での地域住民への周知浸透が図られている。					

評価 総括表					事業の点検			目標 達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	9,398	5,509	4,972	3,100	1,933	B	62%	とちかち鹿追ジオパーク推進協議 会補助金など
	2021	6,605	6,329	5,008	3,200	2,197	B	69%	ジオパーク活動の推進による来 館者数の増加
	2022	6,605	4,991	5,615	3,300	3,139	A	95%	ジオパーク活動の推進による来 館者数の増加
	2023	6,605	4,199	8,199	3,300	8,574	A	260%	ジオパーク活動の推進による来 館者数の増加
	2024	6,605	5,120	4,975	3,500	5,171	A	148%	ジオパーク活動の推進による来 館者数の増加
	2025	6,605	5,687	5,577	3,500	3,622	A	103%	ジオパーク活動の推進による来 館者数の増加
	2026	6,605	6,773		3,500				ジオパーク活動の推進による来 館者数の増加
	2027	6,605			3,500				ジオパーク活動の推進による来 館者数の増加
単位	千円	千円	千円	千円	人	人			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan

関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標

具体的の方針	具体的な事業内容	実施体制
ジオパーク活動に対する理解者や連携団体、事業者とさらに連携を深めながら自然遺産の保全に努める。また、地球温暖化等の変化に対ししなやかに対応できる地域を目指し防災教育等を進めていく。	- 学校教育の場と連携した出前授業及び授業受入 - 地域行事でのPRブース出展 - ジオパーク講座、セミナー及びツアーなどの実施 - ジオパークガイド養成講座の実施 - 関係機関と連携した保全活動（鉱物・野生動植物・登山道等） - 防災教育事業の推進 - 拠点施設の展示物改修及び追加・看板整備 - アクションプランの実施 - 学術調査の実施（継続事業）	- 推進協議会（町長、団体代表者など） - 推進協議会幹事会 - ジオパーク推進課（事務局） - 町民（ジオパーク協力店、認定ガイド等）

Do

「Plan」を実行するためのスケジュール・内容

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
幹事会	協議会総会	講座、ツアー、教育・保全・調査・PR活動等 ～3月まで	展示物制作 （～3月まで）		幹事会		幹事会 （予算等）			幹事会	

Check

「Do」の結果・チェックなど

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	来館者記録簿 ・町内 ・管内 ・道内 ・道外に分類	2023年度以来の北海道石ブームも落ち着きをみせつつあり、前年度よりも来館者数は減少しているが目標値は達成した。 今後は2025年度に設置した新しい展示物（ジオラマ等）を活用し、来館者がより楽しめる工夫を凝らしたい。

Action

Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など

Plan の変更点 （事業方針や内容など）	Doの変更点 （スケジュールなど）	Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）
Planに大きな変更点はないものの、より「人」にスポットを当てて関係者人口を増やしていく。	大きな変更点はない。2026年度はジオパークの全国大会が鹿児島県の桜島・錦江湾ジオパークで開催される。この大会に探究学習を進めている町内の中学生・高校生と一緒に参加し、鹿追の魅力や課題を伝えたい。	紙の記録簿をデジタル化することで、来館者にとっても、管理側によってもより手間のかからない方法に変更する。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	ジオパーク推進課 推進係
-------	--------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力最大化」プロジェクト
	施策	ジオパークの地域住民への浸透
	施策の概要	とかち鹿追ジオパークは、持続可能な地域の実現を目標に、保全・教育・ツーリズムの各分野で活動を推進している。これらの活動は地域住民が主体となって進めることが重要であり、そのための普及啓発と協力を進めていく。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	講座・ツアー等の受講者数(人/年)	642	700	728	1,000	とかち鹿追ジオパーク講座・ツアーなどの受講者数
施策と指標の関連性	指標との関連性は、町内外において、とかち鹿追ジオパークの認知浸透度を図る上での1つの目安となっている。また、多岐に渡るジオパーク活動事業を実施しており、指標以外での地域住民への周知浸透が図られている。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	6,605	4,991	5,615	700	728	A	104%	ジオパーク活動の推進による講座・ツアー等の受講者数の増加
	2023	6,605	4,199	8,199	700	1,650	A	236%	ジオパーク活動の推進による講座・ツアー等の受講者数の増加
	2024	6,605	5,120	4,975	775	881	A	114%	ジオパーク活動の推進による講座・ツアー等の受講者数の増加
	2025	6,605	5,687	5,577	850	1,067	A	126%	ジオパーク活動の推進による講座・ツアー等の受講者数の増加
	2026	6,605	6,773		925				ジオパーク活動の推進による講座・ツアー等の受講者数の増加
	2027	6,605			1,000				ジオパーク活動の推進による講座・ツアー等の受講者数の増加
単位		千円	千円	千円	人	人			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標										
具体的な方針			具体的な事業内容						実施体制		
ジオパーク活動に対する理解者や連携団体、事業者とさらに連携を深めながら自然遺産の保全に努める。また、地球温暖化等の変化に対ししなやかに対応できる地域を目指し防災教育等を進めていく。			・学校教育の場と連携した出前授業及び授業受入 ・地域行事でのPRブース出展 ・ジオパーク講座、セミナー及びツアーなどの実施 ・ジオパークガイド養成講座の実施 ・関係機関と連携した保全活動（鉱物・野生動植物・登山道等） ・防災教育事業の推進 ・拠点施設の改修及び看板整備 ・アクションプランの実施・再認定審査対応 ・学術調査の実施（継続事業）						・推進協議会（町長、団体代表者など） ・推進協議会幹事会 ・ジオパーク推進課（事務局） ・町民（ジオパーク協力店、サポーターなど）		
Do		「Plan」を実行するためのスケジュール・内容									
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
幹事会	協議会総会	講座、ツアー、教育・保全・調査・PR活動等 ～3月まで			幹事会 第15回日本ジオパーク全国大会 十勝岳大会	再認定審査 対応	幹事会 （予算等）			幹事会	
Check		「Do」の結果・チェックなど									
結 果		評価参考基準			実績値の把握方法			ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）			
A		A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了			ジオパーク活動による、各種講座・ツアー等の受講者数			認定ガイドが少しずつだが増えてきており、しかりべつ湖コタンでのツアー実施など、新しい取り組みが行えるようになってきた。また、マスコミに取り上げられ注目を浴びた北海道石をテーマとした講座を開催したことが受講生の増加に繋がった。			
Action		Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など									
Plan の変更点 （事業方針や内容など）		Doの変更点 （スケジュールなど）				Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）					
認定ガイドによるツアー等新たな取り組みに注力する		夏休みの親子をターゲットとするなど、ツアーや講座の実施時期や方法を再検討し、2026年度のスケジュールに反映させる。				来館者名簿の記録方法を紙からデジタルに変更する。					

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	農業振興課 畜産係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力最大化」プロジェクト
	施策	安心・安全な農畜産物の需要拡大
	施策の概要	家畜伝染病等疾病対策を推進するとともに安心・安全な高品質の農畜産物の需要がさらに増すと想定される中で基本となる生産力を引き続き高めるため、競争力や地域力を向上させ「消費者に選ばれる農畜産物」の生産を推進する。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	各種イベント等における農畜産物需要拡大PR・普及活動の回数（回/年）	5	10	6	6	各種イベント等における畜産物需要拡大PR・普及活動の回数
施策と指標の関連性	安心安全な農畜産物の需要がさらに増すよう実施する、各種イベントでのPR回数を指標とした。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	1,300	1,700	0	7	4	B	57%	各種イベント等において農畜産物需要拡大PR・普及活動の実施
	2021	1,300	1,700	1,700	8	5	B	63%	各種イベント等において農畜産物需要拡大PR・普及活動の実施
	2022	1,300	1,300	1,300	9	6	B	67%	各種イベント等において農畜産物需要拡大PR・普及活動の実施
	2023	1,300	1,300	1,300	10	6	B	60%	各種イベント等において農畜産物需要拡大PR・普及活動の実施
	2024	1,300	1,300	1,300	6	9	A	150%	各種イベント等において農畜産物需要拡大PR・普及活動の実施
	2025	1,300	1,300	1,300	6	9	A	150%	各種イベント等において農畜産物需要拡大PR・普及活動の実施
	2026	1,300	1,300		6				各種イベント等において農畜産物需要拡大PR・普及活動の実施
	2027	1,300			6				各種イベント等において農畜産物需要拡大PR・普及活動の実施
単位		千円	千円	千円	回	回			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標											
具体的な方針		具体的な事業内容								実施体制		
町内外において、安心・安全な高品質の本町農畜産物の需要拡大PR、普及活動を実施。		各種イベント等において、普及・PR活動を実施。								・町長、副町長 ・農業振興課 ・商工観光課 ・農業関係機関		
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
普及・PR活動											→	
Check	「Do」の結果・チェックなど											
結 果	評価参考基準				実績値の把握方法				ふりかえり総括（結果（A～Z）の理由を記載）			
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				各種イベント等で行った畜産物需要拡大PRの実績				目標達成率が8割以上であったためAとした。			
Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など											
Plan の変更点（事業方針や内容など）				Doの変更点（スケジュールなど）				Checkの変更点（チェックの体制・方法など）				
計画はおおむね順調に実施できており、特段の変更点はありません。引き続き、PR活動に注力してまいります。				計画はおおむね順調に実施できており、特段の変更点はありません。引き続き、PR活動に注力してまいります。				会議を行う 鹿追町農畜産物需要拡大推進協議会幹事会				

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	農業振興課 畜産係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力最大化」プロジェクト
	施策	安心・安全な農畜産物の需要拡大
	施策の概要	家畜伝染病等疾病対策を推進するとともに安心・安全な高品質の農畜産物の需要がさらに増すと想定される中で基本となる生産力を引き続き高めるため、競争力や地域力を向上させ「消費者に選ばれる農畜産物」の生産を推進する。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	乳製品消費拡大PR回数(回/年)	0	12	7	7	乳製品消費拡大PR活動の回数
施策と指標の関連性	農畜産物の中でも、乳製品の需要がさらに増すよう実施するPRの回数を指標とした。					

評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	0	0	333	10	7	B	70%	乳製品需要拡大PR・普及活動の実施
	2023	0	0	3,000	12	14	A	117%	乳製品需要拡大PR・普及活動の実施
	2024	0	0	333	7	9	A	129%	乳製品需要拡大PR・普及活動の実施
	2025	0	0	333	7	12	A	171%	乳製品需要拡大PR・普及活動の実施
	2026	0	0		7				乳製品需要拡大PR・普及活動の実施
	2027	0			7				乳製品需要拡大PR・普及活動の実施
単位		千円	千円	千円	回	回			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標											
具体的な方針		具体的な事業内容								実施体制		
町内において、乳製品のPR、普及活動を実施		牛乳や乳製品を料理に使用したり、試飲、試食してもらうことで普及・PR活動を実施								・農業振興課 ・農業関係機関		
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動	
Check		「Do」の結果・チェックなど										
結果		評価参考基準				実績値の把握方法		ふりかえり総括（結果（A～Z）の理由を記載）				
A		A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				乳製品需要拡大PRの実績		目標達成率が8割以上であったためAとした。				
Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など											
Planの変更点（事業方針や内容など）				Doの変更点（スケジュールなど）				Checkの変更点（チェックの体制・方法など）				
計画はおおむね順調に実施できており、特段の変更点はありません。引き続き、PR活動に注力してまいります。				計画はおおむね順調に実施できており、特段の変更点はありません。引き続き、PR活動に注力してまいります。				会議を行う 鹿追町酪農振興会				

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

プロジェクトの概要	担当課・係	学校教育課 学校教育係
	プロジェクト名	「魅力最大化」プロジェクト
	施策	外国語教育の充実
	施策の概要	外国語でコミュニケーションを図る資質・能力を育成するため、指導改善やICT活用促進、指導体制の充実を図る。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	高3CEFR-B1相当以上の生徒の割合(%)	-	-	測定値 なし	50	英語学習への意欲と実用的コミュニケーション能力を測定し学習成果を評価
施策と指標の関連性		英語教育を充実させた成果としての技能向上を把握するため、英検等の合格割合を指標とした。				

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	335	335	318	30	15	C	50%	高3CEFR-B1相当以上の生徒の割合(%)
	2025	365	365	376	40	20	C	50%	高3CEFR-B1相当以上の生徒の割合(%)
	2026	365	399		45				高3CEFR-B1相当以上の生徒の割合(%)
	2027	365			50				高3CEFR-B1相当以上の生徒の割合(%)
単位		千円	千円	千円	%	%			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan

関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
興味関心を高める教材と体験学習で積極的な英語接触機会を創出する	ICT音声教材・ALT交流・イマージョン等の体験型学習プログラム実施	・各学校 ・校長会議 ・学校運営協議会

Do

「Plan」を実行するためのスケジュール・内容

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業実践	検定	事業実践	事業実践	事業実践	検定	事業実践	事業実践	事業実践	検定	事業実践	事業実践

Check

「Do」の結果・チェックなど

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A～Z)の理由を記載)
C	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	実態調査	高3CEFR-B1は難関ではありますが、積極的に挑戦していくことで自身にも繋がるため、今後も継続して続けていきたい。

Action

Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
姉妹提携校への交換留学やカナダ短期留学への積極的な参加も見られ、英語接触機会が増えている。今後も英語に触れる機会を作っていきたい。	主要な検定への挑戦や、英語を積極的に使用する機会の拡充。	現場のチェック体制は今後も継続。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	学校教育課 学校教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力最大化」プロジェクト
	施策	外国語教育の充実
	施策の概要	外国語でコミュニケーションを図る資質・能力を育成するため、指導改善やICT活用促進、指導体制の充実を図る。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	英語学習への積極性	-	-	測定値 なし	95	英語で自分の考えや気持ちなどを書く活動が行われていたと思いますかの質問に対して肯定的に回答した人の割合
施策と指標の関連性		英語教育を充実させた成果としての技能向上を把握するため、英検等の合格割合を指標とした。				

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	-	-	-	-	-	-	-	-
2021	-	-	-	-	-	-	-	-
2022	-	-	-	-	-	-	-	-
2023	-	-	-	-	-	-	-	-
2024	485	485	302	85	85	A	100%	英語で自分の考えや気持ちなどを書く活動が行われていたと思いますかの質問に対して肯定的に回答した人の割合
2025	432	432	335	88	90	A	102%	英語で自分の考えや気持ちなどを書く活動が行われていたと思いますかの質問に対して肯定的に回答した人の割合
2026	432	331		90				英語で自分の考えや気持ちなどを書く活動が行われていたと思いますかの質問に対して肯定的に回答した人の割合
2027	432			95				英語で自分の考えや気持ちなどを書く活動が行われていたと思いますかの質問に対して肯定的に回答した人の割合
単位	千円	千円	千円	%	%			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標											
------	---------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
英語で自己表現する機会を増やし、実践的なコミュニケーション能力の育成を図る。	ALTとの連携強化、ICTを活用した言語活動、海外交流活動など実践的な英語教育を推進する。	- 各学校 - 校長会議 - 学校運営協議会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容											
----	-------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業実践	検定	事業実践	事業実践	事業実践	検定	事業実践	事業実践	事業実践	検定	事業実践	事業実践

Check	「Do」の結果・チェックなど											
-------	----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	実態調査	目標値は達成しているものの、英語検定をより積極的に受験していく体制づくりが必要。

Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など											
--------	-------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
ALTとの積極的な関わりを通じて実生活でも英語に触れる機会を増やしていく。	オンライン国際交流の機会を増やし、実際に英語を使用する機会を計画的に設定する。	パフォーマンス評価を取り入れ、英語表現力の向上度を定期的に測定する仕組みを導入する。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	学校教育課 学校教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力最大化」プロジェクト
	施策	探求教育の充実
	施策の概要	児童生徒が主体的に課題を自ら発見し、多様な人と協働しながら課題を解決する探究学習の充実を図る。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	異なる意見への探究心指標	-	-	測定値 なし	80	「自分と違う意見について考えるのは楽しいか」に肯定的に回答する児童の割合(%)
施策と指標の関連性	多様な考えに触れることが探究的な学びの土台となり、この姿勢が児童の思考力や課題解決能力の基盤となるため。					

評価総括表					事業の点検			目標 達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	-	-	-	75	70	A	93%	「自分と違う意見について考えるのは楽しいか」に肯定的に回答する児童の割合(%)
	2025	-	-	-	75	81	A	108%	「自分と違う意見について考えるのは楽しいか」に肯定的に回答する児童の割合(%)
	2026	-	-	-	80				「自分と違う意見について考えるのは楽しいか」に肯定的に回答する児童の割合(%)
	2027	-	-	-	80				「自分と違う意見について考えるのは楽しいか」に肯定的に回答する児童の割合(%)
単位		千円	千円	千円	%	%			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標										
具体的な方針			具体的な事業内容							実施体制	
低学年から対話的な学びを取り入れ、異なる意見を聞く機会を計画的に設ける。			テーマ型学習や地域と連携した体験学習など、多様な意見に触れる学習活動を実施する。							・各小中学校 ・一貫教育連携会議 ・学校運営協議会	
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全国学力・学習状況調査実施	地域人材と連携した探究学習の実施	地域人材と連携した探究学習の実施	地域人材と連携した探究学習の実施	全国学力・学習状況調査の結果把握	地域人材と連携した探究学習の実施	地域人材と連携した探究学習の実施	地域人材と連携した探究学習の実施	全国学力・学習状況調査の結果公表	全国の傾向に基づく学校内分析	成果の検証と次年度への改善案策定	教員研修、探究型授業の年間計画策定
Check	「Do」の結果・チェックなど										
結 果	評価参考基準			実績値の把握方法				ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)			
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了			教師アンケート				肯定的回答が目標値を上回る結果となり、引き続き探究学習の学習を深めていきたい。			
Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など										
Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)			Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)							
探究的な学びの楽しさを実感できる題材の選定やICT活用を活用した授業を実施。	プロジェクトマネージャーの活用など探究につながる授業を実施。			児童の変容を可視化するためのルーブリック評価や振り返りシートの活用を強化する。							

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	学校教育課 学校教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力最大化」プロジェクト
	施策	探求教育の充実
	施策の概要	児童生徒が主体的に課題を自ら発見し、多様な人と協働しながら課題を解決する探究学習の充実を図る。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	自ら課題を発見し解決する力	-	-	測定値 なし	75	自分と違う意見について考えるのは楽しい と思いますかの質問に対して肯定的に回答 した人の割合
施策と指標の関連性		探究的な学びには他者の意見に触れ、多角的視点で考えることが必須であり、この姿勢が課題発見・解決力の基盤となるため。				

評価総括表					事業の点検			目標 達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	-	-	-	65	60	A	92%	「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると感じますか」に肯定的に回答する割合（％）
	2025	-	-	-	68	78	A	115%	「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると感じますか」に肯定的に回答する割合（％）
	2026	-	-	-	73				「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると感じますか」に肯定的に回答する割合（％）
	2027	-	-	-	75				「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると感じますか」に肯定的に回答する割合（％）
単位		千円	千円	千円	％	％			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標										
具体的な方針			具体的な事業内容							実施体制	
授業において対話的な学びの機会を増やし、多様な意見に触れる環境を整備する。			グループ学習やディスカッション、プレゼンテーションなどの探究型授業形態を増やす。							・各小中学校 ・一貫教育連携会議 ・学校運営協議会	
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全国学力・学習状況調査実施	探究型授業の実践、中間評価	探究型授業の実践、中間評価	探究型授業の実践、中間評価	全国学力・学習状況調査の結果把握	学校内分析	事業実践	事業実践	全国学力・学習状況調査の結果公表	全国の傾向に基づく学校内分析	探究型授業の計画策定	成果の検証、次年度への改善案策定
Check	「Do」の結果・チェックなど										
結 果		評価参考基準			実績値の把握方法			ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）			
A		A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了			児童生徒アンケート			肯定的回答が昨年度を大きく上回る結果となり、探究学習が少しずつ身についてきていると感じる。探究学習をより深めていく。			
Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など										
Plan の変更点 （事業方針や内容など）				Doの変更点 （スケジュールなど）				Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）			
探究的な学びの楽しさを実感できる題材選定やICT活用など授業設計を見直す。				生徒が主体的に取り組める地域課題の発掘や外部講師の活用を計画的に取り入れる。				生徒の変容を定期的に確認できるよう、学期ごとの振り返りアンケートを導入する。			

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	学校教育課 学校教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力最大化」プロジェクト
	施策	イノベーションを担う人材育成
	施策の概要	新しいアイデアや技術を生み出し、社会に新たな価値を提供できる人材の育成を図る。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	協働的な課題解決力	-	-	測定値 なし	90	友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますかの質問に対して肯定的に回答した人の割合
施策と指標の関連性	イノベーション創出には他者と協働して課題解決に取り組む力が不可欠であり、この力の育成状況を測る重要な指標となるため。					

評価総括表					事業の点検			目標 達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	-	-	-	90	96	A	107%	友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますかの質問に対して肯定的に回答した人の割合
	2025	-	-	-	90	94	A	104%	友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますかの質問に対して肯定的に回答した人の割合
	2026	-	-		90				友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますかの質問に対して肯定的に回答した人の割合
	2027	-			90				友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますかの質問に対して肯定的に回答した人の割合
	単位	千円	千円	千円	%	%			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標										
具体的な方針			具体的な事業内容							実施体制	
児童が主体的に考え、協働して課題を解決する学習活動の充実を図る。			プロジェクト型学習、地域と連携した課題解決学習、ICTを活用した協働学習などを推進する。							・各学校 ・校長会議 ・学校運営協議会	
Do			「Plan」を実行するためのスケジュール・内容								
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全国学力・学習状況調査実施	地域課題を題材とした協働的な学習活動の実施	地域課題を題材とした協働的な学習活動の実施	地域課題を題材とした協働的な学習活動の実施	全国学力・学習状況調査の結果把握	地域課題を題材とした協働的な学習活動の実施	地域課題を題材とした協働的な学習活動の実施	地域課題を題材とした協働的な学習活動の実施	全国学力・学習状況調査の結果公表	地域課題を題材とした協働的な学習活動の実施	年間指導計画の見直し、教員研修の実施	成果発表会、次年度計画策定
Check			「Do」の結果・チェックなど								
結 果		評価参考基準			実績値の把握方法			ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）			
A		A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了			全国学力・学習状況調査			肯定的な回答が目標値を達成できているものの、昨年度よりは下がっているため、後年に向けた工夫・改善を図る。			
Action		Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など									
Plan の変更点 （事業方針や内容など）				Doの変更点 （スケジュールなど）				Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）			
全ての児童が得意分野を活かせる役割分担や、より実践的な課題設定を工夫する。				ICTを活用した他校との交流学習や、地域人材との連携を強化し実践的な場面を増やす。				協働的問題解決力の育成状況を継続的に把握するための評価指標を多面的に設定する。			

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	学校教育課 学校教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力最大化」プロジェクト
	施策	イノベーションを担う人材育成
	施策の概要	新しいアイデアや技術を生み出し、社会に新たな価値を提供できる人材の育成を図る。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	主体性に関わる自己認識で肯定的に回答する鹿追高校生の割合（％）	-	-	測定値 なし	70	高校生の自主性と課題解決能力の向上度を自己評価により測定する指標
施策と指標の関連性		イノベーションの創出には協働的な課題解決力が不可欠であり、周囲と協力して主体的に取り組む姿勢が重要であるため。				

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	200	184	184	50	60	A	120%	主体性に関わる自己認識で肯定的に回答する鹿追高校生の割合（％）
	2025	220	220	220	60	64	A	107%	主体性に関わる自己認識で肯定的に回答する鹿追高校生の割合（％）
	2026	220	220		65				主体性に関わる自己認識で肯定的に回答する鹿追高校生の割合（％）
	2027	220			70				主体性に関わる自己認識で肯定的に回答する鹿追高校生の割合（％）
単位		千円	千円	千円	％	％			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標										
具体的の方針			具体的な事業内容							実施体制	
協働的問題解決と地域課題解決型プロジェクト学習機会を拡充し育成			地域・企業連携による課題解決学習とアントレプレナーシップ教育推進							・学校 ・校長会議 ・学校運営協議会	
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域課題解決型プロジェクト学習の実施	高校魅力化アンケート調査	地域課題解決型プロジェクト学習の実施	結果分析と対応策協議	地域課題解決型プロジェクト学習の実施	地域課題解決型プロジェクト学習の実施	地域課題解決型プロジェクト学習の実施	地域課題解決型プロジェクト学習の実施	地域課題解決型プロジェクト学習の実施	地域課題解決型プロジェクト学習の実施	年間指導計画の見直し、教員研修の実施	成果確認、次年度計画策定
Check	「Do」の結果・チェックなど										
結 果	評価参考基準				実績値の把握方法			ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)			
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				高校魅力化評価システム			目標値に達成した数値ではあるが、後年の目標達成に向けて工夫・改善を図る必要がある。			
Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など										
Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)				Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)						
全生徒が自分の強みを活かせる役割分担や、実社会と結びついた課題設定を工夫する。	地域人材や企業との連携を強化し、実践的な課題解決の機会を計画的に設定する。				協働的問題解決力の育成状況を把握するための継続的なチェックを行う。						

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	学校教育課 学校教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力最大化」プロジェクト
	施策	学校段階間・学校と社会の接続推進
	施策の概要	学校種間の連携強化と社会とのつながりを意識した教育活動の充実を図る。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	地域・社会貢献への意欲			測定値 なし	90	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますかに肯定的に回答した人の割合
施策と指標の関連性	地域や社会への貢献意欲は、学校と社会の接続意識を表す重要な指標であるため。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	-	-	-	90	84	A	93%	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますかに肯定的に回答した人の割合
	2025	-	-	-	90	85	A	94%	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますかに肯定的に回答した人の割合
	2026	-	-		90				地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますかに肯定的に回答した人の割合
	2027	-			90				地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますかに肯定的に回答した人の割合
単位		千円	千円	千円	%	%			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標										
具体的な方針			具体的な事業内容						実施体制		
地域社会との連携を強化し、地域課題解決に参画する体験的な学習活動の充実。			地域人材を活用した教育活動の展開と、地域イベントや地域貢献活動への児童の参画促進。						・各学校 ・校長会議 ・学校運営協議会		
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全国学力・学習状況調査実施	地域課題調査活動の実施	地域課題調査活動の実施	地域課題調査活動の実施	地域課題調査活動の実施	地域課題調査活動の実施	地域課題調査活動の実施	地域課題調査活動の実施	全国学力・学習状況調査の結果公表	地域課題調査活動の実施	年間活動の振り返りと評価	地域連携年間計画の策定
Check	「Do」の結果・チェックなど										
結 果	評価参考基準				実績値の把握方法		ふりかえり総括 (結果 (A～Z) の理由を記載)				
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				実態調査		肯定的な回答が昨年よりは増えているものの、目標値まで達していないため、主体的に取り組める仕組みづくりが必要。				
Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など										
Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)				Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)						
児童の発達段階に応じた地域貢献活動のメニューを拡充し、より主体的な参画を促す仕組みづくりが必要。	地域の企業や団体との連携を強化し、持続可能な地域連携の体制整備を引き続き進める。				地域貢献活動への参加状況や児童の意識変容を継続的に把握する評価方法の開発と実施。						

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	学校教育課 学校教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力最大化」プロジェクト
	施策	学校段階間・学校と社会の接続推進
	施策の概要	学校種間の連携強化と社会とのつながりを意識した教育活動の充実を図る。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	将来に向けた目標意識			測定値 なし	75	将来の夢や目標を持っていますかに肯定的に回答した人の割合
施策と指標の関連性	将来の夢や目標を持つことは、学校での学びと社会との接続を意識する基盤となるため。					

評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	-	-	-	70	69	A	99%	将来の夢や目標を持っていますかに肯定的に回答した人の割合
	2025	-	-	-	72	71	A	99%	将来の夢や目標を持っていますかに肯定的に回答した人の割合
	2026	-	-	-	73				将来の夢や目標を持っていますかに肯定的に回答した人の割合
	2027	-	-	-	75				将来の夢や目標を持っていますかに肯定的に回答した人の割合
単位		千円	千円	千円	回	回			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
教育課程の検証・改善	全ての学校が教育課程のPDCAサイクルマネジメントを確立する。	各学校

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			第1回学校評価	検証・改善				第2回学校評価	検証・改善		

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	実態調査	目標値まで達してはいないが、肯定的回答が増えてきているため、引き続き地域や企業と連携し多様な職業に触れる機会を拡充していく必要がある。

Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
地域や企業との連携をさらに強化し、多様な職業や生き方に触れる機会の拡充が必要。	キャリア・パスポートの活用を徹底し、小中高の連携による系統的なキャリア教育の推進。	将来の夢や目標の具体性や実現可能性についても評価し、質的な変容も把握する。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	学校教育課 学校教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力最大化」プロジェクト
	施策	主観的ウェルビーイングの向上
	施策の概要	児童の心身の健康と幸福感を高め、安心して学べる環境づくりを推進する。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	幸福感の実感	-	-	測定値 なし	95	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますかに肯定的に回答した人の割合
施策と指標の関連性	日常生活での幸福感の実感、児童のウェルビーイングの直接的な指標となるため。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	-	-	-	95	92	A	97%	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますかに肯定的に回答した人の割合
	2025	-	-	-	95	100	A	105%	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますかに肯定的に回答した人の割合
	2026	-	-		95				普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますかに肯定的に回答した人の割合
	2027	-			95				普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますかに肯定的に回答した人の割合
	単位	千円	千円	千円	%	%			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標											
具体的な方針		具体的な事業内容								実施体制		
子どもたちの心身の健康と幸福感を高めるための学校環境の整備と教育活動の充実。		心の健康教育プログラムの実施と、自己肯定感を高める指導の充実、安心して過ごせる学校環境づくり。								・各学校 ・校長会議 ・学校運営協議会		
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
全国学力・学習状況調査実施	心の健康教育プログラム	自己肯定感向上ワークショップ	心の健康教育プログラム	自己肯定感向上ワークショップ	心の健康教育プログラム	自己肯定感向上ワークショップ	個別支援計画の見直しと改善	全国学力・学習状況調査結果公表	心の健康教育プログラム	年間活動の成果検証と次年度計画	ウェルビーイング向上年間計画策定	
Check	「Do」の結果・チェックなど											
結 果	評価参考基準				実績値の把握方法			ふりかえり総括（結果（A～Z）の理由を記載）				
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				アンケート			肯定的回答が目標値を上回る結果となり、引き続き個別の対応も充実させていく。				
Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など											
Plan の変更点（事業方針や内容など）				Doの変更点（スケジュールなど）				Checkの変更点（チェックの体制・方法など）				
幸福感を実感する機会が少ない児童への個別支援の充実と、家庭・地域と連携した取り組みも強化。				定期的なウェルビーイングの状況把握と、多様な児童のニーズに対応したプログラムの柔軟な実施。				幸福感の質的な側面や要因分析を行うための独自アンケート調査を実施し、より詳細な実態把握を行う。				

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	学校教育課 学校教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力最大化」プロジェクト
	施策	主観的ウェルビーイングの向上
	施策の概要	児童の心身の健康と幸福感を高め、安心して学べる環境づくりを推進する。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	学校生活の充実感	-	-	測定値 なし	70	学校に行くのは楽しいと思えますかに肯定的に回答した人の割合
施策と指標の関連性	日常生活での幸福感の実感、児童のウェルビーイングの直接的な指標となるため。					

評価総括表					事業の点検			目標 達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	-	-	-	65	63	A	97%	学校に行くのは楽しいと思いき すかに肯定的に回答した人の割合
	2025	-	-	-	66	87	A	132%	学校に行くのは楽しいと思いき すかに肯定的に回答した人の割合
	2026	-	-		68				学校に行くのは楽しいと思いき すかに肯定的に回答した人の割合
	2027	-			70				学校に行くのは楽しいと思いき すかに肯定的に回答した人の割合
	単位	千円	千円	千円	%	%			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
生徒が安心して過ごせる学校環境の整備と、一人ひとりの自己肯定感を高める教育活動の充実。	いじめ防止対策の強化と心の健康教育の推進、教育相談体制の充実と居場所づくりの取り組み。	・各学校 ・校長会議 ・学校運営協議会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全国学力・学習状況調査実施	生徒会活動を中心とした居場所づくり	いじめ防止プログラムの実施	生徒会活動を中心とした居場所づくり	いじめ防止プログラムの実施	生徒会活動を中心とした居場所づくり	いじめ防止プログラムの実施	個別支援計画の見直しと改善	全国学力・学習状況調査結果公表	生徒会活動を中心とした居場所づくり	年間活動の成果検証と次年度計画	ウェルビーイング向上年間計画策定

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	アンケート	学校生活が楽しいと感じている生徒が87%であり、全ての生徒が安心して過ごせる環境づくりをさらに継続して続けていく必要がある。

Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
生徒の声をより反映させた学校環境の改善と、個別のニーズに対応したきめ細かな支援体制の強化。	教職員の生徒理解研修の充実と、生徒の自主的な活動を支援する体制の強化。	学校生活の楽しさを感じる要因や阻害要因の詳細分析を行い、効果的な支援策を検討する。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	保健福祉課 包括ケア係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	地域包括ケアシステムを推進する体制の充実
	施策の概要	高齢者等が、いつまでも住み慣れた地域で安心して尊厳ある生活続けることができるよう、住まい、医療、介護予防、生活支援が一体的に提供される仕組みを考えていきます。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	地域包括支援センター・居宅支援事業所の新規相談件数（件）	357	500	419	460	地域包括支援センター・居宅支援事業所の新規相談件数
施策と指標の関連性	高齢者が在宅生活を継続する方法を共に考える手段のひとつである相談の件数を指標とした。					

					事業の点検			目標 達成率	内容
年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価			
評価総括表	2020	24,000	24,915	25,020	350	133	B	38%	地域支援事業費（介護予防・生活支援サービス事業費など）
	2021	24,000	25,828	25,504	400	203	B	51%	相談受付・介護サービスとの連携・権利擁護業務の推進
	2022	24,000	28,274	27,682	450	419	A	93%	相談受付・介護サービスとの連携・権利擁護業務の推進
	2023	24,000	29,825	25,279	500	392	B	78%	相談受付・介護サービスとの連携・権利擁護業務の推進
	2024	25,000	27,644	24,574	400	319	B	80%	地域支援事業費（介護予防・生活支援サービス事業費など）
	2025	25,000	31,162	30,960	420	364	A	87%	地域支援事業費（介護予防・生活支援サービス事業費など）
	2026	25,000	29,654		440				地域支援事業費（介護予防・生活支援サービス事業費など）
	2027	25,000			460				地域支援事業費（介護予防・生活支援サービス事業費など）
単位	千円	千円	千円	件	件				

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
・地域の支援を必要とする高齢者や家族などの相談を受け付け、適切な機関・制度・サービスにつなぎ支援していきます。 ・医療機関と居宅に関する介護サービスとの連携を図ります。 ・権利擁護業務の推進に努めます。 ・重層的支援体制整備事業との連携を図ります。	介護予防・日常生活支援総合事業、総合相談支援、包括的・継続的ケアマネジメント支援、介護予防支援・介護予防ケアマネジメント、認知症施策の推進、権利擁護業務、在宅医療・介護との連携の推進、生活支援サービス体制の整備、居宅介護支援	・各所属長 ・保健福祉課 ・社会福祉協議会 ・医療機関 ・介護施設 ・介護サービス事業所 ・町民

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・各種相談・生活支援サービスについての協議 ・認知症カフェ ・民生委員との連携・				・在宅医療介護連携推進会議	・RUN伴		・認知症サポーター養成講座	・個別避難計画策定			

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括（結果（A～Z）の理由を記載）
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	実際の相談件数	相談件数は目標値を下回ったが、相談窓口や介護サービス等の広報、老人会等での事業説明を通じて早めの相談の呼びかけを実施。引き続き高齢者の在宅生活継続のため、相談機能の充実化を図る。

Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点（事業方針や内容など）	Doの変更点（スケジュールなど）	Checkの変更点（チェックの体制・方法など）
変更なし	変更なし	変更なし

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	保健福祉課 包括ケア係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	地域包括ケアシステムを推進する体制の充実
	施策の概要	高齢者等が、いつまでも住み慣れた地域で安心して尊厳ある生活を送ることができるよう、住まい、医療、介護予防、生活支援が一体的に提供される仕組みを考えていきます。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	医療介護福祉の機関との会議開催数(回/年)	3	12	6	12	地域ケア会議、ケースに係る連絡会議、在宅医療介護連携推進会議等の開催
施策と指標の関連性	医療介護福祉の関係機関と連携して町民への支援を考えるために開催する会議の回数を指標とした。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	0	0	0	12	6	C	50%	地域ケア会議、ケースに係る連絡会議、在宅医療介護連携推進会議等の開催
	2023	0	0	0	12	12	A	100%	地域ケア会議、ケースに係る連絡会議、在宅医療介護連携推進会議等の開催
	2024	0	0	0	12	10	A	83%	地域ケア会議、ケースに係る連絡会議、在宅医療介護連携推進会議等の開催
	2025	0	0	0	12	5	C	42%	地域ケア会議、ケースに係る連絡会議、在宅医療介護連携推進会議等の開催
	2026	0	0		12				地域ケア会議、ケースに係る連絡会議、在宅医療介護連携推進会議等の開催
	2027	0			12				地域ケア会議、ケースに係る連絡会議、在宅医療介護連携推進会議等の開催
単位		千円	千円	千円	回	回			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan

関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
医療・介護・福祉に係る関係機関との連携を図る。	介護予防支援・介護予防ケアマネジメント、在宅医療・介護との連携の推進、居宅介護支援、地域ケア会議、担当ケースに係る関係機関との連絡会議等	・各所属長 ・保健福祉課 ・社会福祉協議会 ・医療機関 ・介護施設 ・介護サービス事業所 ・町民

Do

「Plan」を実行するためのスケジュール・内容

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・連絡会議	・地域ケア会議						・在宅医療介護連携推進会議			・地域ケア会議	→

Check

「Do」の結果・チェックなど

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A～Z)の理由を記載)
C	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	会議開催件数	医療連携等の会議については、体制の変更等も重なり開催回数が例年に比べ少なかったが、必要に応じて各種会議を開催し、鹿追町における個別課題や地域課題へ対応した。

Action

Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
変更なし	変更なし	変更なし

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係		保健福祉課 福祉係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	包括的な支援体制の整備
	施策の概要	高齢者支援、障がい者支援、子育て支援、生活困窮者支援でそれぞれ取り組んできた「相談支援」「参加支援」「地域づくり」に関する支援を一体的に行い、制度の縦割りから包括的な支援体制を構築していく。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	福祉重層的支援定例会数(回/年)	-	-	8	12	各関係機関の情報を共有し、包括的な支援体制整備を考えるために開催する定例会の回数を指標とした。
施策と指標の関連性	各関係機関の情報を共有し、包括的な支援体制整備を考えるために開催する定例会の回数を指標とした。					

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	-	-	-	-	-	-	-	-
2021	-	-	-	-	-	-	-	-
2022	-	-	-	-	-	-	-	-
2023	-	-	-	-	-	-	-	-
2024	43,293	39,676	42,516	5	5	A	100%	各関係機関の情報を共有し、課題解決を図る。
2025	46,000	41,535	43,051	10	3	B	30%	各関係機関の情報を共有し、課題解決を図る。
2026	49,000	36,821		10				各関係機関の情報を共有し、課題解決を図る。
2027	52,000			12				各関係機関の情報を共有し、課題解決を図る。
単位	千円	千円	千円	回	回			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
各関係機関の情報を共有し、課題解決を図る。	複数の分野にまたがる課題を抱える個人や世帯に対して、必要に応じて連携会議を開催し、各支援関係機関における役割分担等のコーディネートを行う。	保健福祉課を中心として、学校教育課、子育て支援課、建設水道課、町民課との連携を図る。	

Do		「Plan」を実行するためのスケジュール・内容									
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
定例会の開催	定例会の開催		定例会の開催	定例会の開催		定例会の開催		定例会の開催		定例会の開催	定例会の開催

Check	「Do」の結果・チェックなど		
結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A～Z)の理由を記載)
B	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	会議開催件数	定例会の開催回数は少なかったが、随時必要な情報については収集しながら、制度の狭間のニーズを抱える人に対する支援を行うことができた。今後も相談対応の充実化を図っていく。

Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など		
Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)	
変更なし	変更なし	変更なし	

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	保健福祉課 福祉係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	包括的な支援体制の整備
	施策の概要	高齢者支援、障がい者支援、子育て支援、生活困窮者支援でそれぞれ取り組んできた「相談支援」「参加支援」「地域づくり」に関する支援を一体的に行い、制度の縦割りから包括的支援体制を構築していく。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	相談支援件数（件/年）	-	-	5	10	断らない包括的な支援体制により実際の相談支援件数を指標とした。
施策と指標の関連性	断らない包括的な支援体制により実際の相談支援件数を指標とした。					

評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	0	0	0	10	8	A	80%	多機関協働事業で連携会議を開催した件数
	2025	0	0	0	10	14	A	140%	多機関協働事業で連携会議を開催した件数
	2026	0	0		10				多機関協働事業で連携会議を開催した件数
	2027	0			10				多機関協働事業で連携会議を開催した件数
単位	千円	千円	千円	千円	件	件			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
複数の分野にまたがる課題を抱える個人や世帯に対して、必要に応じて	関係機関への連絡調整や会議の開催、今後の方向性を検討、役割分担等	ケースの相談内容に伴う、関係機関との連携

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
随時実施											

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	実際の相談支援件数	定例会や随時の連絡により対象となるケースの早期対応・役割分担等を行っている。

Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 （事業方針や内容など）	Doの変更点 （スケジュールなど）	Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）
変更なし	変更なし	変更なし

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	社会教育課 社会教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
	施策の概要	地域学校協働活動推進員の効果的な配置や校長の社会教育士の取得支援、ライフアカデミーマイスター制度の活用等により、学校を核としたコミュニティづくりを推進します。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	地域学校協働活動実施数(回/年)	-	-	18	20	地域学校協働活動実施数
施策と指標の関連性	地域と学校の連携により実施した事業について、直接的な指標となると考えたため。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	46	46	0	18	64	A	356%	・学校でのライフアカデミーマイスターの活用 ・地域と学校の連携事業の実施
	2025	46	46	0	19	52	A	274%	・学校でのライフアカデミーマイスターの活用 ・地域と学校の連携事業の実施
	2026	46	46		19				・学校でのライフアカデミーマイスターの活用 ・地域と学校の連携事業の実施
	2027	46			20				・学校でのライフアカデミーマイスターの活用 ・地域と学校の連携事業の実施
単位		千円	千円	千円	回	回			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標															
具体的な方針				具体的な事業内容						実施体制						
地域・学校・家庭の連携・協働の推進				・学校でのライフアカデミーマイスターの活用 ・地域と学校の連携事業の実施						教育委員会社会教育課 教育委員会学校教育課 各学校						
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容															
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
活用 連携事業	活用 連携事業	活用 連携事業	活用 連携事業	活用 連携事業	活用 連携事業	活用 連携事業	活用 連携事業	活用 連携事業	活用 連携事業	活用 連携事業	活用 連携事業	活用 連携事業				
Check	「Do」の結果・チェックなど															
結 果		評価参考基準				実績値の把握方法			ふりかえり総括 (結果(A～Z)の理由を記載)							
A		A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				主催事業及び学校への 聞き取り			地域人材の活用が図られた。また、目標達成率が8割以上のためAとした。							
Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など															
Plan の変更点 (事業方針や内容など)				Doの変更点 (スケジュールなど)				Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)								
地域と学校の連携をよりスムーズにいくように 行う				より良いスケジュールが無いか検討を行う				学校等への聞き取りによって行う								

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

		担当課・係	社会教育課 社会教育係						
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト							
	施策	コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進							
	施策の概要	地域学校協働活動推進員の効果的な配置や校長の社会教育士の取得支援、ライフアカデミーマイスター制度の活用等により、学校を核としたコミュニティづくりを推進します。							
関係指標		指標名	前期		後期		内容		
			現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)			
		人材バンクを活用した事業実施数（回/年）	-	-	0	7	人材バンクを活用した事業実施数		
施策と指標の関連性		人材バンクに登録した方を実際に活用した数を指標とした。							
評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	46	46	0	1	1	A	100%	・人材バンク登録者充実のための学校からの情報収集 ・各学校への制度の周知及び名簿の提供 ・人材バンク登録者の活用
	2025	46	46	0	3	5	A	167%	・人材バンク登録者充実のための学校からの情報収集 ・各学校への制度の周知及び名簿の提供 ・人材バンク登録者の活用
	2026	46	46		5				・人材バンク登録者充実のための学校からの情報収集 ・各学校への制度の周知及び名簿の提供 ・人材バンク登録者の活用
	2027	46			7				・人材バンク登録者充実のための学校からの情報収集 ・各学校への制度の周知及び名簿の提供 ・人材バンク登録者の活用
単位		千円	千円	千円	回	回			

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標										
具体的な方針			具体的な事業内容							実施体制	
ライフアカデミーマスター制度の活用			・人材バンク登録者充実のための学校からの情報収集 ・各学校への制度の周知及び名簿の提供 ・人材バンク登録者の活用							教育委員会社会教育課 教育委員会学校教育課 各学校	
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集
周知	周知	周知	周知	周知	周知	周知	周知	周知	周知	周知	周知
活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用
Check	「Do」の結果・チェックなど										
結 果	評価参考基準				実績値の把握方法			ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）			
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				実際の開催数			・目標値を達成できたため評価をAとした。			
Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など										
Plan の変更点 （事業方針や内容など）				Doの変更点 （スケジュールなど）				Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）			
更なる活用に向け周知PRを行っていく。				必要に応じスケジュールについては見直しを行う。				担当への聞き取りや関係機関への聞き取りにより実施する。			

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	社会教育課 社会教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	人材バンクの活用
	施策の概要	ライフアカデミーマイスター制度の改善充実、人材の発掘や既存のマイスターの積極的なPR・活用と近隣町人材バンクとの連携を図ります。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	人材バンクを活用した事業実施数(回/年)	-	-	2	5	人材バンクを活用した事業実施数
施策と指標の関連性	人材バンクに登録した方を実際に活用した数を指標とした。					

評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	46	46	0	3	2	B	67%	・活用のための制度のPR ・近隣自治体との連携
	2025	46	46	0	4	5	A	125%	・活用のための制度のPR ・近隣自治体との連携
	2026	46	46		5				・活用のための制度のPR ・近隣自治体との連携
	2027	46			5				・活用のための制度のPR ・近隣自治体との連携
単位		千円	千円	千円	回	回			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
制度活用のための積極的なPR	・活用のための制度のPR ・近隣自治体との連携	教育委員会社会教育課

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
PR 連携	PR 連携	PR 連携	PR 連携	PR 連携	PR 連携	PR 連携	PR 連携	PR 連携	PR 連携	PR 連携	PR 連携

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A～Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	実際の開催数	・目標値を達成できたため評価をAとした

Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
更なる活用に向け周知PRを行っていくとともに近隣自治体と情報交換を行う。	必要に応じスケジュールについては見直しを行う。	担当への聞き取りや関係機関への聞き取りにより実施する。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	社会教育課 社会教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	人材バンクの活用
	施策の概要	ライフアカデミーマスター制度の改善充実、人材の発掘や既存のマスターの積極的なPR・活用と近隣町人材バンクとの連携を図ります。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	ライフアカデミーマスター登録者数(人)	-	-	26	30 (累計)	ライフアカデミーマスター登録者数
施策と指標の関連性		人材バンクの活用には登録が必要であることから指標とした。				

	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
評価総括表	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	-	-	-	-	-	-	-	-
	2023	-	-	-	-	-	-	-	-
	2024	46	46	0	27	33	A	122%	・制度改善充実のための見直し ・登録者増のための制度のPR
	2025	46	46	0	28	56	A	200%	・制度改善充実のための見直し ・登録者増のための制度のPR
	2026	46	46		29				・制度改善充実のための見直し ・登録者増のための制度のPR
	2027	46			30				・制度改善充実のための見直し ・登録者増のための制度のPR
	単位	千円	千円	千円	人	人			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標											
具体的な方針		具体的な事業内容								実施体制		
ライフアカデミーマスター制度の改善充実		・制度改善充実のための見直し ・登録者増のための制度のPR								教育委員会社会教育課		
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	制度見直し	制度見直し	制度見直し	制度見直し	制度見直し	PR	PR	PR	PR	PR	PR	PR
Check	「Do」の結果・チェックなど											
結 果		評価参考基準				実績値の把握方法		ふりかえり総括 (結果(A～Z)の理由を記載)				
A		A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				登録名簿による		・目標値を達成できたため評価をAとした				
Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など											
Plan の変更点 (事業方針や内容など)				Doの変更点 (スケジュールなど)				Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)				
更なる活用に向け周知PRを行っていく。				必要に応じスケジュールについては見直しを行う。				担当への聞き取りや関係機関への聞き取りにより実施する。				

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

プロジェクトの概要	担当課・係	商工観光課 観光係
	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	道の駅しかおい・うりまく、観光協会との連携
	施策の概要	観光客等との交流の拠点施設である道の駅において、町内特産品に関するイベント等を実施するとともに、町外の道の駅との相互連携事業により町内特産品の町外への積極的な発信などを実施します。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	町外道の駅との連携イベントの実施回数(回)	2	10 (累計)	0	5 (累計)	町外道の駅との連携イベントの実施回数
施策と指標の関連性	施策として行う町外の道の駅との相互連携事業の実施回数を指標とする。					

	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
評価総括表	2020	1,200	1,200	0	3	0	Y	0%	・観光協会補助事業（特産品部会）による連携イベントの実施
	2021	500	500	0	5	0	Y	0%	・観光協会補助事業（特産品部会）による連携イベントの実施
	2022	500	500	0	7	0	Y	0%	・観光協会補助事業（特産品部会）による連携イベントの実施
	2023	500	300	0	10	0	Y	0	・観光協会補助事業（特産品部会）による連携イベントの実施
	2024	200	200	285	5	6	A	120%	・観光協会補助事業による連携イベントの実施
	2025	200	200	212	5	4	A	80%	・観光協会補助事業による連携イベントの実施
	2026	200	200		5				・観光協会補助事業による連携イベントの実施
	2027	200			5				・観光協会補助事業による連携イベントの実施
単位		千円	千円	千円	回	回			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標	
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
物産振興を図るため観光協会と連携した道の駅連携事業に取り組みます。	・道の駅しかおい及びうりまくにおいて町内特産品の販売促進を進めるとともに、町外道の駅との相互連携事業を複数回実施します。	鹿追町 鹿追町観光協会 道の駅しかおい 道の駅うりまく

Do		「Plan」を実行するためのスケジュール・内容									
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
観光協会総会	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施					

Check	「Do」の結果・チェックなど		
結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	担当係にて実施回数の確認による。	道の駅しかおいにて、町外の道の駅と連携したイベントを開催し、目標に対して80%達成したことからA評価とする。

Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など		
Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)	
町外の道の駅連携事業の拡大を検討し、さらに販売する商品の魅力化と情報発信の強化を図ることで、来訪者の満足度向上と町の認知度向上を目指す。	実績を踏まえ、連携する道の駅の拡大や商品の魅力化、情報発信の強化を図り、連携イベントを複数回実施する。	イベントの実施回数を目標値・実績値とする。	

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

	担当課・係	商工観光課 観光係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	道の駅しかおい・うりまく、観光協会との連携
	施策の概要	観光客等との交流の拠点施設である道の駅において、町内特産品に関するイベント等を実施するとともに、町外の道の駅との相互連携事業により町内特産品の町外への積極的な発信などを実施します。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	道の駅しかおい、うりまく入込数(人/年)	139,436	160,000	154,133	187,000	道の駅しかおい、うりまく入込数
施策と指標の関連性	町内特産品を町外へ積極的に発信することなどにより増加させる、道の駅しかおい、うりまくの入込数を指標とした。					

	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
評価総括表	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	500	500	0	150,000	154,133	Y	103%	・連携イベントの実施等による道の駅への入込数増加
	2023	500	500	0	160,000	167,418	Y	105	・連携イベントの実施等による道の駅への入込数増加
	2024	200	200	285	172,000	170,300	A	99%	・連携イベントの実施等による道の駅への入込数増加
	2025	200	200	212	177,000	165,100	A	93%	・連携イベントの実施等による道の駅への入込数増加
	2026	200	200		182,000				・連携イベントの実施等による道の駅への入込数増加
	2027	200			187,000				・連携イベントの実施等による道の駅への入込数増加
単位		千円	千円	千円	人	人			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標	
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
物産振興を図るため観光協会と連携した道の駅連携事業に取り組みます。	・道の駅しかおい及びうりまくにおいて町内特産品の販売促進を進めるとともに、町外道の駅との相互連携事業を複数回実施します。	鹿追町 鹿追町観光協会 道の駅しかおい 道の駅うりまく

Do		「Plan」を実行するためのスケジュール・内容										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
観光協会総会				イベント実施	イベント実施							

Check	「Do」の結果・チェックなど		
結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	道の駅レジ通過数をもとに入込数を算出	道の駅しかおいにおいて、町外の道の駅と連携したイベントを開催し、目標にたいして93%であったことから、A評価とする。

Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など	
Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
町外の道の駅との連携を強化するとともに、販売商品の魅力化や情報発信を強化し、来訪者の満足度向上と町の認知度向上を図る。	実績を踏まえ、連携する道の駅の拡大を検討するとともに、販売商品の魅力化や情報発信を強化し、連携イベント等を複数回実施する。	入込数を目標値・実績値とする。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

		担当課・係	町民課 住民生活係						
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト							
	施策	防災意識の普及と防災体制の充実強化							
	施策の概要	災害発生時における対応力の向上と町全体の防災体制の強化を図ります。							
関係指標		指標名	前期		後期		内容		
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)				
		行政区等を対象とした 防災訓練等の回数（回/ 年）	0	10	5	5	防災一般講話、個別・地区計画 に係る		
施策と指標の関連性		防災意識の普及のために実施する防災訓練等の回数を指標とした。							
評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標 達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	4,567	4,567	3,996	10	0	C	0%	・防災備品の整備 ・防災防火フェスティバル開催 ・北海道総合行政ネットワーク工事負担金 他
	2021	268	1,753	1,753	10	5	B	50%	・防災備品の整備 ・「防災・防火フェスティバルinしか おい」の開催 ・防災講話や防災訓練の実施 ・避難所運営マニュアルの整備
	2022	268	346	343	10	5	C	50%	・防災備蓄の整備 ・防災講話や防災訓練の実施
	2023	268	0	0	10	4	C	40%	・防災備蓄の整備 ・防災講話や防災訓練の実施
	2024	0	0	0	5+5	4	C	40%	・防災講話や防災訓練の実施 ・防災委員研修等 ・個別避難計画の協議等 ・地区防災計画の協議等
	2025	0	0	0	5+5	7	B	70%	・防災講話や防災訓練の実施 ・防災委員研修等 ・個別避難計画の協議等 ・地区防災計画の協議等
	2026	500	0		5+5				・防災講話や防災委員研修等 ・個別避難計画の策定に向けた協議等 ・鹿追町地域防災計画の見直し
2027	0			5				・鹿追町防災訓練の実施 ・防災委員研修等 ・個別避難計画の協議等	
単位		千円	千円	千円	回	回			

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標										
具体的な方針			具体的な事業内容							実施体制	
各学校・団体等における自助・共助の重要性等についての一般的な防災意識の高揚と個別避難計画及び地区防災計画の策定に向けた地区協議等により防災体制の充実強化（ソフト面）を図る。			・防災ハザードブックや広報紙等を活用し、停電、断水、火災、風雪、水害、地震など自然災害等に対する防災意識の高揚に努めます。 ・個別避難計画、地区防災計画の策定に向けての地区協議等、順次取り組みます。							鹿追町防災会議・地域防災委員・民生委員	
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		個別避難計画の策定に向けた地域防災委員研修会の開催	個別避難計画の策定に向けた民生委員説明会の開催		要支援者に対する希望調査	個別避難計画の策定	→	→		個別避難計画策定完了	
Check		「Do」の結果・チェックなど									
結 果		評価参考基準			実績値の把握方法			ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）			
B		A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了			開催実績回数 個別避難計画			個別避難計画や地区防災計画の作成に向け地区防災委員への研修、福祉消防機関などとの連携により、一定の進捗が図られたことは評価できる。			
Action		Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など									
Planの変更点 （事業方針や内容など）				Doの変更点 （スケジュールなど）				Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）			
目標達成に向け、継続していく				地域住民等の協力を得ながら、実行していく				関係機関との連携を強化し、進捗状況の確認をしていく			

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	町民課 住民生活係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	防災意識の普及と防災体制の充実強化
	施策の概要	災害発生時における対応力の向上と町全体の防災体制の強化を図ります。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	避難所運営マニュアル等の改定（事業）	0	3 (累計)	1	2	感染症対策等に配慮した避難所運営マニュアル等の改定
施策と指標の関連性	防災体制の強化を目的に、避難所運営マニュアル等の内容を充実させる。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	0	0	0	1	1	A	100%	感染症対策等に配慮した避難所運営マニュアルの改定
	2023	2,000	1,351	1,288	2	3	A	100%	ハザードブックの更新 防災備蓄食料の整備
	2024	1,351	1,351	1,288	2	2	A	100%	・防災備蓄食料の整備・更新 ・防災用デジタル簡易無線機整備 ・防災備蓄品の再検討
	2025	462	471	421	2	2	A	100%	・防災備蓄食料の整備・更新 ・防災備蓄品の再検討・整備
	2026	462	1,110		2				・防災備蓄食料の整備・更新 ・防災備蓄品の再検討・整備
	2027	462			2				・防災備蓄食料の整備・更新 ・防災備蓄品の再検討・整備
単位		千円	千円	千円	事業	事業			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標														
具体的な方針				具体的な事業内容						実施体制					
防災備蓄品の再検討と計画的な整備。				・防災備蓄食料の計画的な整備・更新に努めます。 ・個別避難計画・地区防災計画の策定に向けた協議等に合わせて防災備蓄品の品目・数量等の再検討を行い、計画的な整備に努めます。						鹿追町防災会議・地域防災委員					
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容														
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
補助金等関係機関打合せ					補助金等交付申請	備蓄食料入札				備蓄食料納品	補助金等交付決定・実績報告				
Check	「Do」の結果・チェックなど														
結果				評価参考基準			実績値の把握方法			ふりかえり総括（結果（A～Z）の理由を記載）					
A				A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了			避難所運営マニュアルの改訂			計画的な更新が図られている					
Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など														
Planの変更点（事業方針や内容など）				Doの変更点（スケジュールなど）				Checkの変更点（チェックの体制・方法など）							
災害備蓄品を適正に管理し、継続して更新整備を図る				スケジュールに乗っ取り進めていく				目標達成に向け進めていく							

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	企画課 企画係
-------	---------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	国際姉妹都市との交流促進
	施策の概要	ストニブレイン町との交流を継続し、相互間で新たな事業を模索します。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	受入れホスト家庭数 (戸)	308	358 (累計)	318	358 (累計)	受入れホスト家庭数
施策と指標の関連性	往来を伴う交流が中心で、ホームステイによる交流の継続を目標としているため、受入れホスト家庭数を目標値としている。					

評価総括表					事業の点検			目標 達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	20,000	17,859	1,415	328	318	B	97%	・姉妹提携35周年事業の実施 ・訪問団受入事業の実施 ・相互住民長期滞在体験事業 ・国際交流センターの運営
	2021	7,500	10,647	1,695	338	318	A	94%	・訪問団受入事業の実施 ・相互住民長期滞在体験事業 ・国際交流センターの運営
	2022	7,500	1,882	1,931	348	318	C	91%	・訪問団受入事業の実施 ・相互住民長期滞在体験事業 ・国際交流センターの運営
	2023	7,500	5,359	3,467	358	327	A	91%	・訪問団受入事業の実施 ・相互住民長期滞在体験事業 ・国際交流センターの運営
	2024	12,807	12,807	8,110	334	332	A	99%	・友好訪問団派遣 ・訪問団受入事業の実施 ・相互住民長期滞在体験事業 ・国際交流センターの運営
	2025	20,000	16,718	13,256	342	344	A	101%	・姉妹提携40周年事業の実施 ・訪問団受入事業の実施 ・相互住民長期滞在体験事業 ・国際交流センターの運営
	2026	7,500	11,366		350				・訪問団受入事業の実施 ・相互住民長期滞在体験事業 ・国際交流センターの運営
	2027	7,500			358				・訪問団受入事業の実施 ・相互住民長期滞在体験事業 ・国際交流センターの運営
単位		千円	千円	千円	戸	戸			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標										
具体的な方針			具体的な事業内容							実施体制	
ストニブレイン町との交流事業			・友好訪問団派遣 ・短期留学生訪問団受入事業 ・相互住民長期滞在事業 ・国際交流センターの運営							企画課 国際交流協議会	
Do			「Plan」を実行するためのスケジュール・内容								
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
相互① センター	相互① 友好訪問団 センター	相互① センター	短期留学生 センター	相互② センター	相互② センター	センター	センター	相互③ センター	相互③ センター	センター	センター
Check			「Do」の結果・チェックなど								
結 果			評価参考基準			実績値の把握方法			ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)		
A			A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了			派遣・受入の実績を データで管理してい る。			訪問団員の受入れ人数が多かったことから、 目標値を上回る実績となった。ホスト家庭希望 者も必要数を確保でき、継続して受入れを行う 家庭に加え、新たに受入れに参加する家庭も あったことから、交流の裾野の広がりと継続的 な交流事業の実施に効果的であったと言える。		
Action			Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など								
Plan の変更点 (事業方針や内容など)				Doの変更点 (スケジュールなど)				Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)			
これまで通り行う。				これまで通り円滑に行う。				これまでどおり、事業結果については国際交流 協議会の協議を経るものとし、結果及び振り返 り総括については、その内容を踏まえて、事務 局の企画課において実施する。			

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	企画課 企画係
-------	---------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	国際姉妹都市との交流促進
	施策の概要	ストニブレイン町との交流を継続し、相互間で新たな事業を模索します。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	国際交流事業に参加した鹿追町民の数(人/年)	60	60	220	100	国際交流事業に参加した鹿追町民の数
施策と指標の関連性		各種オンライン交流や国際交流センターにおけるイベント等の実施を通じて国際交流に興味をもつ町民を増やしていくことが、今後の交流事業に重要なため。				

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	7,500	1,882	1,931	60	220	B	366%	・オンラインを活用した交流の実施(料理教室、語学教室) ・国際交流センターにおける国際交流イベントの企画
	2023	7,500	5,359	3,467	60	148	B	246%	・オンラインを活用した交流の実施(語学教室) ・国際交流センターにおける国際交流イベントの企画
	2024	12,807	12,807	8,110	70	50	B	71%	・国際交流センター等における国際交流イベントの企画・支援
	2025	20,000	16,718	13,256	80	101	A	126%	・国際交流センター等における国際交流イベントの企画・支援
	2026	7,500	11,366		90				・国際交流センター等における国際交流イベントの企画・支援
	2027	7,500			100				・国際交流センター等における国際交流イベントの企画・支援
単位		千円	千円	千円	人	人			

2025(R7)年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
国際交流に興味を持ち、交流事業に参加する町民を増やしていく	・国際交流センター等における国際交流イベントの企画・支援	企画課 国際交流協議会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
					TFR				平成館イベント①		平成館イベント②

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	事業の参加者数	国際交流センター平成館においては、デジタルノマドで来ていた異文化の方のお話を聞く交流事業ができた。 また、SSハウスにおける長期滞在事業による交流事業やTFRなどの国際関係イベントの実施を通じて、町民が国際交流事業に参加する機会は確保できたと考ええる。

Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
国際交流センター平成館に求められる機能などを考えながら、平成館における交流事業については再考していきたい。 なお、SSハウスにおける長期滞在者との交流事業などは継続して活発的なものになるよう推進したい。	国際交流センター平成館に求められる機能などを考えながら、平成館における交流事業については再考していきたい。	これまでどおり、事業結果については国際交流協議会の協議を経るものとし、結果及び振り返り総括については、その内容を踏まえて、事務局の企画課において実施する。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	企画課 企画係
-------	---------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	町民の町政参加機会の拡充
	施策の概要	各種審議会委員などを公募や無作為抽出などの手法により選出し、町民誰もが町政に参画しやすい環境づくりに努めます。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	各種審議会委員などの無作為抽出選出件数(件/年)	0	5 (累計)	0	1	各種審議会委員などの無作為抽出選出件数
施策と指標の関連性		町政に係る各種の事項を審議する委員会等に多くの町民が参加することは、町民の町政への参加の直接的な指標となると考えたため。				

評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	0	0	0	1	0	B	0%	・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
	2021	0	0	0	2	1	C	50%	・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
	2022	0	0	0	3	0	D	0%	・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
	2023	0	0	0	5	2	C	40%	・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
	2024	0	0	0	1	0	D	0%	・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
	2025	0	0	0	1	0	D	0%	・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
	2026	0	0		1				・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
	2027	0			1				・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
単位		千円	千円	千円	件	件			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標												
具体的な方針			具体的な事業内容								実施体制		
各種審議会委員等の選出における公募や無作為抽出などの手法の積極的な検討			・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認								町長、副町長 各所属長 企画課（事務局）		
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
			条例周知 実施状況確認			条例周知							
Check			「Do」の結果・チェックなど										
結 果		評価参考基準				実績値の把握方法		ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）					
D		A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				庁内各課への照会による。		各課への周知等を行っているものの、無作為抽出による会議参加は進んでいない。 年度によって無作為抽出の適・不適があるのも実態であり、無作為抽出に適した会議体の際には今後も無作為抽出による選出が検討されるよう働きかけを行っていきたい。					
Action		Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など											
Plan の変更点 （事業方針や内容など）				Doの変更点 （スケジュールなど）				Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）					
これまでの方針を継続し、無作為抽出に適した会議体の際には今後も無作為抽出による選出が検討されるよう働きかけを行っていきたい。				これまでの方針を継続し、無作為抽出に適した会議体の際には今後も無作為抽出による選出が検討されるよう働きかけを行っていきたい。				チェック体制・方法についてはこれまでどおり実施する。					

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

プロジェクトの概要	担当課・係	企画課 企画係
	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	町民の町政参加機会の拡充
	施策の概要	各種審議会委員などを公募や無作為抽出などの手法により選出し、町民誰もが町政に参画しやすい環境づくりに努めます。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	公募による会議などへの参加件数(件/年)	1	3	0	1	公募による会議などへの参加件数
施策と指標の関連性	町政に係る各種の事項を審議する委員会等に多くの町民が参加することは、町民の町政への参加の直接的な指標となると考えたため。					

評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	0	0	0	3	0	D	0%	・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
	2023	0	0	0	3	2	C	40%	・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
	2024	0	0	0	1	0	D	0%	・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
	2025	0	0	0	1	1	A	100%	・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
	2026	0	0		1				・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
	2027	0			1				・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
	単位	千円	千円	千円	件	件			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標										
具体的な方針			具体的な事業内容							実施体制	
各種審議会委員等の選出における公募の積極的な検討			・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認							町長、副町長 各所属長 企画課（事務局）	
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			条例周知 実施状況確認			条例周知					
Check			「Do」の結果・チェックなど								
結 果		評価参考基準			実績値の把握方法			ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）			
A		A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了			庁内各課への照会による。			年度によって公募の適・不適があるのも実態であり、公募に適した会議体の際には今後も公募による選出が検討されるよう働きかけを行っていきたい。			
Action		Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など									
Plan の変更点 （事業方針や内容など）			Doの変更点 （スケジュールなど）				Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）				
これまでの方針を継続し、公募に適した会議体の際には今後も無作為抽出による選出が検討されるよう働きかけを行っていきたい。			これまでの方針を継続し、公募に適した会議体の際には今後も無作為抽出による選出が検討されるよう働きかけを行っていきたい。				チェック体制・方法についてはこれまでどおり実施する。				

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	企画課 広報広聴係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	広報広聴活動の拡充
	施策の概要	毎月発行している広報しかおひやホームページなどによる情報発信のほか、SNSなどにより情報の発信・共有に努めます。また、「やまびこメール」や「地域マネージャー制度」「ふれあいトーク」など誰もが参加し、まちづくりの意見交換ができる環境づくりに努めます。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	ふれあいトークへの参加人数(人/年)	-	300	56	300	ふれあいトークへの参加人数
施策と指標の関連性	誰もがまちづくりの意見交換ができる場であるであるふれあいトークの参加人数を指標とした。					

評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	0	20	2	150	63	B	42%	・ふれあいトークの参加人数
	2021	0	5	3	200	20	D	10%	・ふれあいトークの参加人数
	2022	0	20	6	250	56	D	22%	・ふれあいトークの参加人数
	2023	0	20	2	300	46	D	15%	・ふれあいトークの参加人数
	2024	0	20	2	150	36	D	24%	・ふれあいトークの参加人数
	2025	0	20	2	200	69	D	35%	・ふれあいトークの参加人数
	2026	0	20		250				・ふれあいトークの参加人数
	2027	0			300				・ふれあいトークの参加人数
単位		千円	千円	千円	人	人			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
ふれあいトークの周知	・広報誌、ホームページ、SNS、防災無線、地域マネージャーなどを通し周知を図る。	町長、地域マネージャー、企画課広報広聴係

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
制度について適宜周知											→

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結 果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A～Z)の理由を記載)
D	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	ふれあいトークへの参加人数を計上	カフェトーク1回、出前トーク3回開催し、目標の参加人数には達しなかったものの、前年より倍近い人数の方に参加いただいた。

Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
前年同様の周知方法を実施、開催回数も同程度を計画。	前年同様の周知方法を実施、開催回数も同程度を計画。	ふれあいトークの参加人数を実績値として計上する。

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	企画課 広報広聴係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	広報広聴活動の拡充
	施策の概要	毎月発行している広報しかおひやホームページなどによる情報発信のほか、SNSなどにより情報の発信・共有に努めます。また、「やまびこメール」や「地域マネージャー制度」「ふれあいトーク」など誰もが参加し、まちづくりの意見交換ができる環境づくりに努めます。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	鹿追お知らせメール登録件数(件)	1,328	1,500	1,663	2,300	メール、LINE、アプリの登録総件数
施策と指標の関連性	効果的、効率的な情報発信を行うために開始した、新たな情報発信ツール「鹿追お知らせメール」の利用者の登録件数を指標とした。					

評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	0	0	0	1,400	1,663	A	119%	メール、LINE、アプリの登録総件数
	2023	0	0	0	1,500	1,933	A	129%	メール、LINE、アプリの登録総件数
	2024	0	0	0	2,000	2,395	A	120%	メール、LINE、アプリの登録総件数
	2025	0	0	0	2,100	3,068	A	146%	メール、LINE、アプリの登録総件数
	2026	0	0		2,200				LINEの登録総件数
	2027	0			2,300				LINEの登録総件数
単位		千円	千円	千円	件	件			

2025(R7)年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標											
具体的な方針		具体的な事業内容								実施体制		
鹿追お知らせメール登録の周知		・広報誌、ホームページ、SNS、地域マネージャーなどを通し周知を図る。								企画課、各課、地域マネージャー		
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
加入促進を適宜周知											→	
Check	「Do」の結果・チェックなど											
結 果	評価参考基準				実績値の把握方法				ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)			
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				鹿追お知らせメールの登録者数(メール・LINE・mishika)を計上				お知らせメールの利便性が利用者に浸透した点や、高齢者スマホ教室などにより広く周知を行ったことから目標値を上回ることができた。			
Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など											
Planの変更点 (事業方針や内容など)				Doの変更点 (スケジュールなど)				Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)				
引き続き高齢者スマホ教室や広報誌などで周知活動を行う。				引き続き高齢者スマホ教室や広報誌などで周知活動を行う。				LINEの総登録件数を実績値として計上する。 ※2026年6月末で「メール」「アプリ」のサービスが終了し、「LINE」へ集約				

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	企画課 広報広聴係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	住民自治組織の育成
	施策の概要	町内会のあり方や活性化のための研修会や講演会などを開催し、それぞれの地域が持つ特性や特色を生かして、地域の課題を地域みんなの力で解決できる組織の育成に努めます。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	行政区支援事業への参加件数（件/年）	24	35	8	35	行政区支援事業への参加件数
施策と指標の関連性	地域の課題を地域の方で解決できるようになるために実施する、行政区支援事業への参加券数を指標とした。					

評価総括表	年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
					目標値	実績値	自己評価		
	2020	0	763	422	25	8	C	32%	・行政区支援事業への参加件数
	2021	0	778	441	28	8	C	29%	・行政区支援事業への参加件数
	2022	0	3,000	282	30	8	C	27%	・行政区支援事業への参加件数
	2023	0	2,500	710	35	10	D	29	・行政区支援事業への参加件数
	2024	0	2,500	828	25	12	C	48%	・行政区支援事業への参加件数
	2025	0	1,500	578	28	12	C	43%	・行政区支援事業への参加件数
	2026	0	1,500		30				・行政区支援事業への参加件数
	2027	0			35				・行政区支援事業への参加件数
単位		千円	千円	千円	件	件			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2024年度の具体的な目標											
具体的な方針		具体的な事業内容								実施体制		
町内会（地域のつながり）の大切さを啓発		・ 広報誌や行政区長会議などを通し啓発を図る。								企画課広報広聴係		
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
適宜啓発											→	
Check	「Do」の結果・チェックなど											
結 果	評価参考基準				実績値の把握方法				ふりかえり総括（結果（A～Z）の理由を記載）			
C	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				地域のつながり活動助成事業を実施する行政区数を計上				前年と同じ12行政区の参加件数があったものの、決算額としては下回った結果となった。			
Action	Checkを受け、2025年度以降に向けた必要な変更点など											
Plan の変更点（事業方針や内容など）				Doの変更点（スケジュールなど）				Checkの変更点（チェックの体制・方法など）				
令和5年度に制度改定を実施、申請条件などの見直しを行っており、継続して行政区支援を行っている。行政区活動の再開も徐々に増えてきており、制度利用の増加を見込んでいる。				令和5年度に制度改定をし、申請条件などの見直しを行っており、継続して行政区支援を行っている。行政区活動の再開も徐々に増えてきており、制度利用の増加を見込んでいる。				地域のつながり活動助成事業の利用数を実績値として計上する。				

第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	企画課 広報広聴係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	住民自治組織の育成
	施策の概要	町内会のあり方や活性化のための研修会や講演会を開催し、それぞれの地域が持つ特性や特色を生かして、地域の課題を地域みんなの力で解決できる組織の育成に努めます。

関係指標	指標名	前期		後期		内容
		現状値 (2021年度)	目標値 (2023年度)	現状値 (2022年度)	目標値 (2027年度)	
	職員等による出前講座、勉強会などの開催回数(回/年)	14	20	14	20	職員等による出前講座、勉強会などの開催回数
施策と指標の関連性	地域の課題解決のために実施する、職員等による、役場の新規事業や防災・防犯についての出前講座や勉強会の開催回数を指標とした。					

評価総括表					事業の点検			目標達成率	内容
	年度	計画額	予算額	決算額	目標値	実績値	自己評価		
	2020	-	-	-	-	-	-	-	-
	2021	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022	0	0	0	15	14	A	93%	職員等による出前講座、勉強会などの開催回数
	2023	0	0	0	20	13	B	65	職員等による出前講座、勉強会などの開催回数
	2024	0	0	0	15	16	A	107%	職員等による出前講座、勉強会などの開催回数
	2025	0	0	0	15	13	A	87%	職員等による出前講座、勉強会などの開催回数
	2026	0	0		20				職員等による出前講座、勉強会などの開催回数
	2027	0			20				職員等による出前講座、勉強会などの開催回数
単位		千円	千円	千円	回	回			

2025（R7）年度 第7期総合計画 後期「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2025年度の具体的な目標											
具体的な方針		具体的な事業内容								実施体制		
つながり活動事業などを通し周知		広報誌、ホームページ、SNS、地域マネージャーなどを通し周知。								企画課 各課 地域マネージャー など		
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
適宜周知											→	
Check	「Do」の結果・チェックなど											
結 果	評価参考基準				実績値の把握方法				ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)			
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				地域のつながり活動実績報告書に基づく職員の出前講座の実施回数				活動を実施する行政区が徐々に増えてきた中で、前年以上に開催することはできなかったものの、幅広く講座を開催することができた。			
Action	Checkを受け、2026年度以降に向けた必要な変更点など											
Plan の変更点 (事業方針や内容など)				Doの変更点 (スケジュールなど)				Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)				
今後も各行政区の活動が活発化されることが考えられる。引き続き依頼のあった行政区に対して、出前講座を実施していく。				今後も各行政区の活動が活発化されることが考えられる。引き続き依頼のあった行政区に対して、出前講座を実施していく。				地域のつながり活動実績報告に基づき職員の出前講座等の実施回数を計上する。				